

「コロナ禍における訪問介護従事者の業務負担・ストレスや  
就労意識に関する調査」

とりまとめ報告書

令和5（2023）年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター



## はじめに

措置時代はもとより2000（平成12）年4月の制度創設以来、訪問介護は介護保険制度において在宅サービスの中核的な役割を担ってきた。制度発足し20数年を経て介護保険を取り巻く社会状況は少子高齢化の進展の影響を受け、老々介護、独居高齢者の増加など想定を超える変化が生じたところである。これらは高齢者の生活にも大きな影響を及ぼすとともに新たな課題が表出、重層化し多様なニーズが生じている。

要介護高齢者の多くは自ら住み慣れ親しんだ地域での在宅生活の継続を望んでおり、介護保険法においても、「可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮されなければならない。」（介護保険法第2条4項）と定められている。さらに厚生労働省は、2011（平成23）年の制度改正以来、地域包括ケアシステムの深化、推進に積極的に取り組んできているところである。

訪問介護は在宅の利用者にとってもっとも身近なサービスであり、在宅での生活を支えるという意味では地域包括ケアシステムの構築における中核的な役割を担うサービスと言える。今後さらに高齢化が進展し要介護高齢者が急増していく中で、ますますその役割は重要になってくることが予想される。

一方で介護需要が高まる中で、第8期介護保険事業計画における介護人材の需要推計を見ると2023年度末までに約22万人（合計233万人）、2025年までに約32万人（合計243万人）の新たな介護人材の確保が求められている。介護人材確保に向けて厚生労働省は処遇の改善など様々な施策を展開してきているが、稼働層の減少という理由だけでなく介護に対するマイナスのイメージが十分に払拭されていないことから、介護分野の有効求人倍率は3.64倍（令和3年度）となっている。その中でも介護サービス職員の有効求人倍率をみると、施設介護職員と比較して、訪問介護員の有効求人倍率が高くなっており、2020年度時点で14.92倍となっている。さらに職種別の介護労働者の人手不足感をみると、約8割の事業所が、訪問介護員の不足を感じている。（第93回社会保障審議会介護保険部会）

昨年12月20日の社会保障審議会介護保険部会において、介護保険制度の見直しに関する意見では「介護人材不足は喫緊の対応すべき課題である」との指摘がされている。これらのことを踏まえ当センターでは、今後の訪問介護サービスの推進の一助となるべき訪問介護事業及び訪問介護に従事している職員の実態、意識等に関して、主に新型コロナウイルス感染症以前とを比較し調査を実施したところである。調査結果の詳細については本報告書をご覧いただきたいが、感染症という厳しい状況下において多くの労苦を抱えながら日々ご尽力されている状況を垣間見ることができた。訪問介護事業に従事している方々に対し心から敬意を表するとともにさらなる訪問介護事業の発展を祈念するものである。

令和5年3月

一般財団法人 長寿社会開発センター



# 目次

|   |    |
|---|----|
| (1) 調査概要                                | 1  |
| 1. 背景と目的                                | 1  |
| 2. 実施方法等                                | 1  |
| 1) 調査対象                                 | 1  |
| 2) 調査方法                                 | 1  |
| 3. 調査結果（総括）                             | 2  |
| (2) 調査結果                                | 4  |
| 1. 調査協力の同意                              | 4  |
| 2. 事業所の所在地                              | 5  |
| 3. 事業所の法人種別                             | 7  |
| 4. 事業所に併設するサービス種別                       | 8  |
| 5. 事業所の職員数                              | 9  |
| 6. 事業所の特定事業所加算の算定状況                     | 10 |
| 7. 自身の雇用形態                              | 11 |
| 8. 複数の事業所への所属（登録）の有無                    | 12 |
| 9. 自身の職種                                | 13 |
| 10. 訪問介護員としての実務経験年数                     | 14 |
| 11. 現在の事業所における訪問介護員としての実務経験年数           | 15 |
| 12. 現在保有している保健・医療・福祉の資格                 | 16 |
| 13. 年齢                                  | 17 |
| 14. 直前の就労状況                             | 18 |
| 15. 訪問介護の仕事を選んだ理由                       | 19 |
| 16. 「自身の業務量」「身体的ストレス」「精神的ストレス」「健康状態」の変化 | 20 |
| 17. 給与面の変化                              | 24 |
| 18. ストレスを感じることから                        | 27 |
| 19. 新型コロナウイルス禍で働くうえで生じる不安               | 28 |
| 20. 新型コロナウイルス感染症の流行前の幸福感・達成感、やりがい       | 29 |
| 21. 設問20で「とてもあった」、「まあまああった」と回答した理由      | 30 |
| 22. 現在の幸福感・達成感、やりがい                     | 31 |
| 23. 設問22で「とてもあった」、「まあまああった」と回答した理由      | 33 |
| 24. 今後取得予定の資格                           | 36 |
| 25. 今後の訪問介護継続の意向                        | 37 |
| 26. 設問25を回答した理由                         | 43 |
| (3) 調査票                                 | 44 |

## (1) 調査概要

### 1. 背景と目的

2020（令和2）年1月に、わが国で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、我々国民は数度の緊急事態宣言や新しい生活様式といった日常生活の変容が余儀なくされている。

新型コロナウイルス感染症の影響は、高齢者や障害者等の生活を支える各種サービスにも波及し、事業の縮小（自粛）、介護従事者の感染や濃厚接触者認定等により、人材の確保も困難を来した。

これまでの間、厚生労働省からは、新型コロナウイルス感染症に関連した通知が連日のように発出され、訪問介護をはじめとした介護サービス事業所では、日々その対応に追われることとなった。

こうした未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大の中において、訪問介護従事者の業務負担・ストレスや就労意識に変化が生じた事が推察される。

新型コロナウイルス感染症の罹患者数は増減を繰り返し完全な収束をみないところであるが、先般「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更（令和5年2月10日）が示された。変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、同年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけることとした。

今後、再び変異株が出現するなど不測の事態が惹起されることを懸念し、新型コロナウイルス感染症の流行開始前である2020（令和2）年1月以前と、2022（令和4）年7～8月時点における訪問介護従事者の業務負担感・ストレスの感じ方や就労意識の変化を把握することを目的に調査を行った。

### 2. 実施方法等

#### 1) 調査対象

- ・調査実施期間中に訪問介護事業所に勤務する訪問介護従事者であって、かつ2020（令和2）年1月以前より同じ事業所で勤務する者（「身体介護」「生活援助」の双方を業務として経験していること）。
- ・訪問介護員、サービス提供責任者、管理者の別は問わない。
- ・常勤、非常勤の別は問わない。

#### 2) 調査方法

- ・Web調査会社に登録している調査対象者を対象に、Web調査で実施。
- ・調査期間は、令和4（2022）年12月23日～12月26日。
- ・有効回答者数 324件

### 3. 調査結果（総括）

○訪問介護員としての実務経験年数は「5～10年未満」が29.9%と最も多かった。保有している資格としては介護福祉士が76.5%と最も多かったが、中には介護支援専門員（19.1%）、社会福祉士（9.0%）の資格を有する者もいた。〔設問10.12〕

○年齢に関しては、40代、50代で約6割を占めている。訪問介護に就く前の就労状況を見ても、介護とは関係ない業界で働いていた者は28.7%、学生等未就労者は10.2%と全体の約4割が介護業界以外からの入職であった。〔設問13.14〕

○訪問介護の仕事を選んだ理由としては、「ライフスタイルにあわせた勤務が可能」という回答が33.3%、「利用者個々人の生活を支えたい」が24.4%となっている。〔設問15〕

○「自身の業務量」、「身体的ストレス」、「精神的ストレス」、「健康状態」の4項目に関する感染症流行前後の変化は、各項目とも「差異はない」が多くを占めていた。しかし、「悪化（激増）」「わずかに悪化（増加）」を合わせると「健康状態」以外の項目では約5割が悪化を示している。特に「身体的ストレス」「精神的ストレス」に関しては、「悪化（激増）」「わずかに悪化（増加）」を合わせた割合は「差異はない」より割合が多くなっている。「好転（激減）」「わずかに好転（減少）」に関しては、4項目ともそれぞれ5%未満となっている。

上記からも感染症の拡大は、業務量やストレスに関して負の影響を与え、身体的・精神的ストレスに関しては特に大きな影響を与えたと考えられる。〔設問16〕

○「給与面」に関しては「差異がない」が54.9%ともっとも多かったが、「増額した」「わずかに増額した」を合わせると34.3%となっている。法人種別では「医療法人」のみが「差異がない」より「増額した」が最も高く43.6%となっている。事業所規模で「増額した」を見てみると「31人以上」が最も高く41.3%となっている。一方で減額した事業所をみると「～10人」の規模の事業所では17.8%と最も高くなっている。〔設問17〕

○もっともストレスを感じる点については、「感染予防対策（頻回な消毒・除菌、感染防護服の使用等）」が26.9%ともっとも多いことから、感染予防対策などの業務量が増加したことによる身体的負担の増加が考えられる。また、新型コロナウイルス感染症禍で働くうえで生じる不安については、「自分が感染すること」が61.1%ともっとも多く、「自分を介して事業所内に感染をひろめてしまうこと」の53.4%、「自分の同居家族が感染すること」の42.6%となっていることから、感染リスクへの不安による精神的負担の増加が考えられる。〔設問18.19〕

○業務を通じての、幸福感・達成感・やりがいについては、新型コロナウイルス流行前後ともに「まあまああった」が半数以上を占め、「あまりなかった（あまりない）」、「とてもあった（とてもある）」とつづいた。なお、「あまりない」「ない」の割合は、新型コロナウイルス流行前後ともに、約3割を占めていた。また、「とてもあった（とてもある）」「まあまああった（まあまあある）」と回答した方に、「どんな時に一番その思いを感じたか」についての回答を得たところ、こちらにも、新型コロナウイルス流行前後ともに「感謝の言葉（利用者、利用者家族）」が約半数を占め、「利用者の状態が改善したとき」、「上司・同僚からの評価・賞賛」とつづく。

上記のことから、幸福感・達成感・やりがいは、流行前後では大きな差はみられなかった。〔設問20.21.22.23〕

○今後も訪問介護の仕事をしていきたいかについては、「続けていこうと思う」（N=239）73.8%と最も多く、実務経験が長くなるにつれて仕事の継続意思は高くなるが10年以上となると少し低下した。続けていこうと思う理由として、やりがいや生きがい、使命感を感じているといった回答が約4割を占めた。

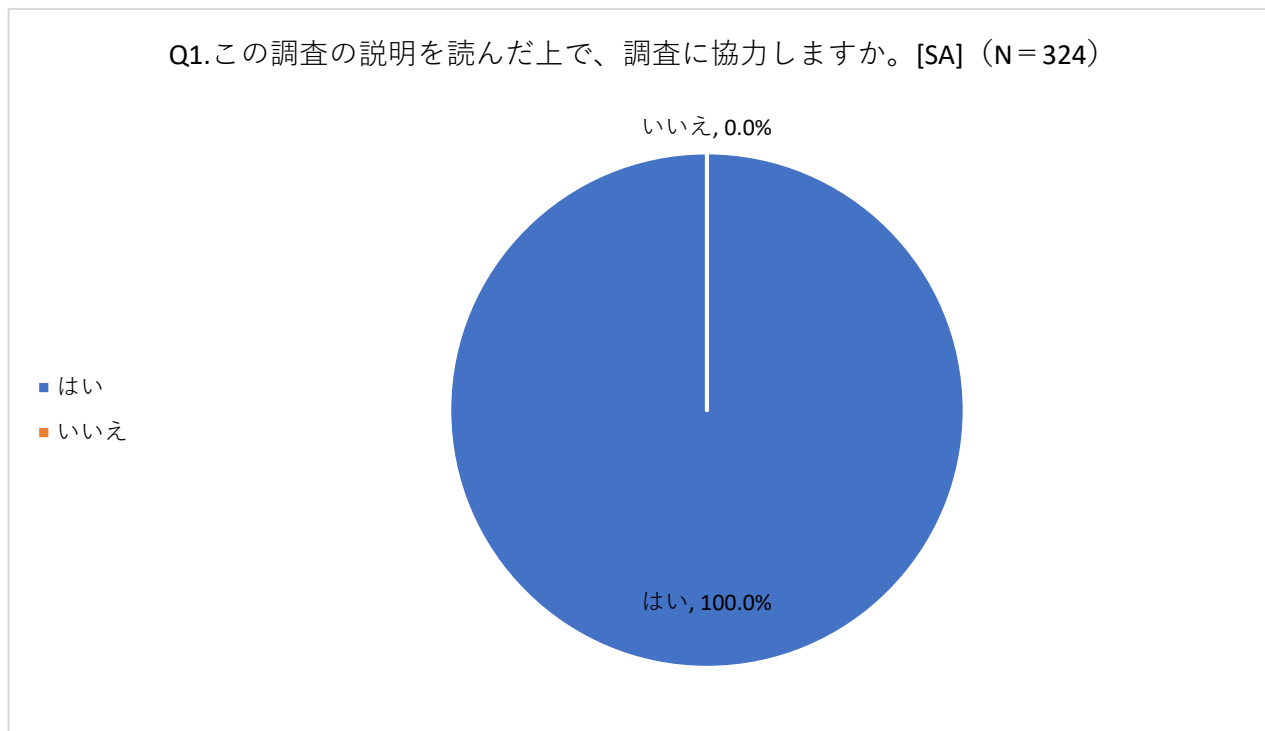
「他の業種に転職しようと思う」（N=34、10.5%）の理由としては、身体的・精神的負担が大きいといった回答が最も多く、次いで、給与が低いといった、回答が多く見られた。〔設問25.26〕



## (2) 調査結果

Q1.この調査の説明を読んだ上で、調査に協力しますか。[SA] (N=324)

|     | N   | %      |
|-----|-----|--------|
| はい  | 324 | 100.0% |
| いいえ | 0   | 0.0%   |
| 合計  | 324 | 100.0% |



Q2.貴訪問介護事業所がある都道府県をお答えください。[SA] (N=324)

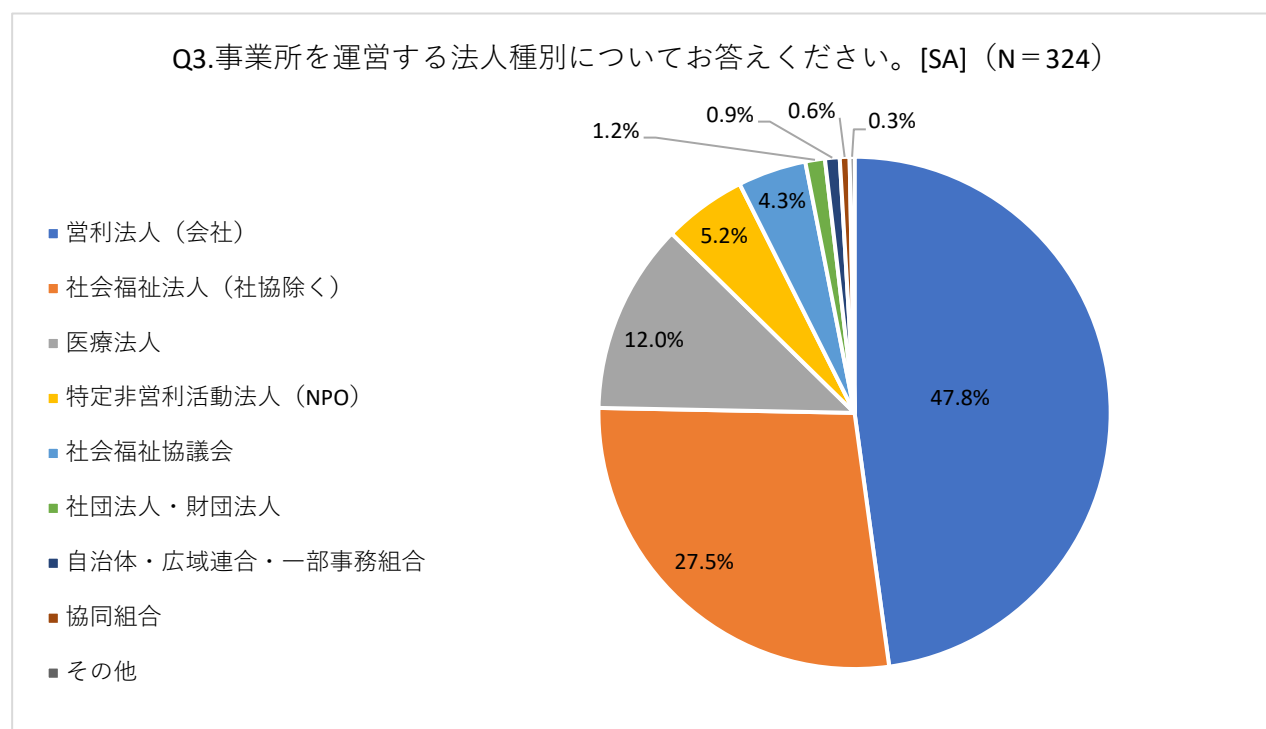
|      | N  | %    |
|------|----|------|
| 北海道  | 23 | 7.1% |
| 青森県  | 6  | 1.9% |
| 岩手県  | 2  | 0.6% |
| 宮城県  | 9  | 2.8% |
| 秋田県  | 3  | 0.9% |
| 山形県  | 5  | 1.5% |
| 福島県  | 4  | 1.2% |
| 茨城県  | 8  | 2.5% |
| 栃木県  | 5  | 1.5% |
| 群馬県  | 4  | 1.2% |
| 埼玉県  | 12 | 3.7% |
| 千葉県  | 12 | 3.7% |
| 東京都  | 32 | 9.9% |
| 神奈川県 | 21 | 6.5% |
| 新潟県  | 9  | 2.8% |
| 富山県  | 3  | 0.9% |
| 石川県  | 2  | 0.6% |
| 福井県  | 1  | 0.3% |
| 山梨県  | 0  | 0.0% |
| 長野県  | 2  | 0.6% |
| 岐阜県  | 7  | 2.2% |
| 静岡県  | 6  | 1.9% |
| 愛知県  | 13 | 4.0% |
| 三重県  | 9  | 2.8% |
| 滋賀県  | 3  | 0.9% |
| 京都府  | 12 | 3.7% |
| 大阪府  | 29 | 9.0% |
| 兵庫県  | 20 | 6.2% |
| 奈良県  | 5  | 1.5% |
| 和歌山県 | 3  | 0.9% |
| 鳥取県  | 2  | 0.6% |
| 島根県  | 1  | 0.3% |
| 岡山県  | 10 | 3.1% |
| 広島県  | 10 | 3.1% |
| 山口県  | 5  | 1.5% |

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 徳島県  | 3   | 0.9%   |
| 香川県  | 3   | 0.9%   |
| 愛媛県  | 3   | 0.9%   |
| 高知県  | 2   | 0.6%   |
| 福岡県  | 4   | 1.2%   |
| 佐賀県  | 0   | 0.0%   |
| 長崎県  | 2   | 0.6%   |
| 熊本県  | 2   | 0.6%   |
| 大分県  | 0   | 0.0%   |
| 宮崎県  | 1   | 0.3%   |
| 鹿児島県 | 2   | 0.6%   |
| 沖縄県  | 4   | 1.2%   |
| 合計   | 324 | 100.0% |

**Q3.事業所を運営する法人種別についてお答えください。[SA] (N=324)**

営利法人（会社）がもっとも多く、約半数を占める。次いで、社会福祉法人（社協除く）の27.5%、医療法人の12.0%とつづく。

|                 | N   | %      |
|-----------------|-----|--------|
| 営利法人（会社）        | 155 | 47.8%  |
| 社会福祉法人（社協除く）    | 89  | 27.5%  |
| 医療法人            | 39  | 12.0%  |
| 特定非営利活動法人（NPO）  | 17  | 5.2%   |
| 社会福祉協議会         | 14  | 4.3%   |
| 社団法人・財団法人       | 4   | 1.2%   |
| 自治体・広域連合・一部事務組合 | 3   | 0.9%   |
| 協同組合            | 2   | 0.6%   |
| その他             | 1   | 0.3%   |
| 合計              | 324 | 100.0% |



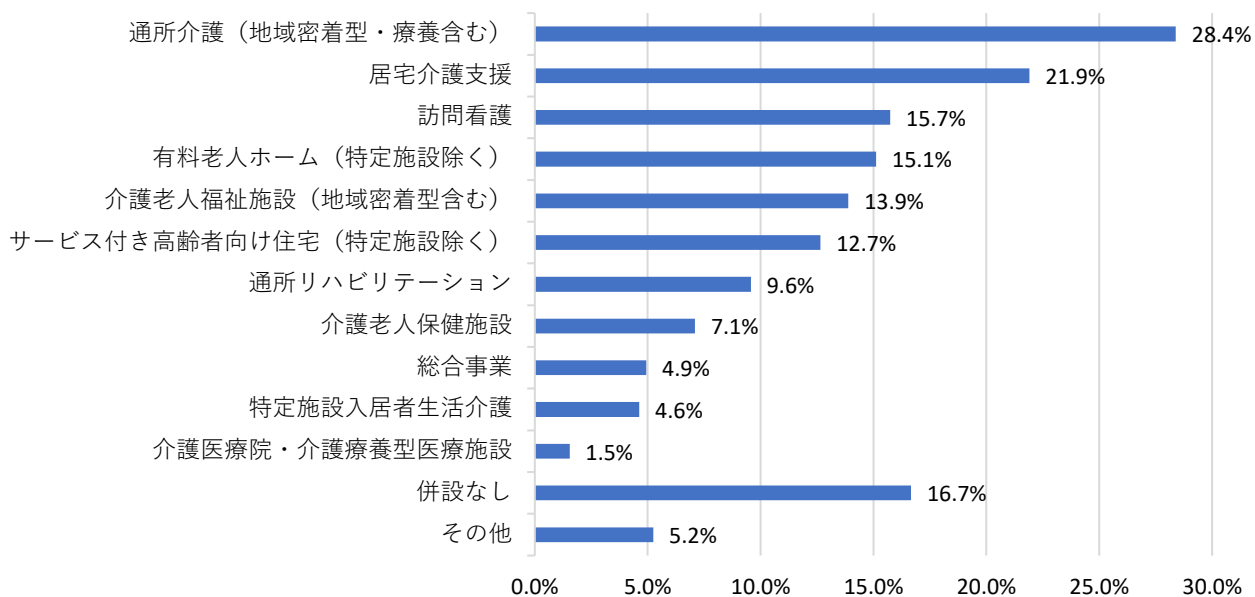
#### Q4.事業所に併設する介護保険サービス種別についてお答えください。[MA] (N=324)

通所介護（地域密着型・療養含む）の併設が28.4%ともっとも多く、次いで、居宅介護支援が21.9%、訪問看護が15.7%とつづく。

その他では、訪問入浴介護が5件、福祉用具貸与が4件といった回答がみられた。

|                       | N   | %      |
|-----------------------|-----|--------|
| 通所介護（地域密着型・療養含む）      | 92  | 28.4%  |
| 居宅介護支援                | 71  | 21.9%  |
| 訪問看護                  | 51  | 15.7%  |
| 有料老人ホーム（特定施設除く）       | 49  | 15.1%  |
| 介護老人福祉施設（地域密着型含む）     | 45  | 13.9%  |
| サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） | 41  | 12.7%  |
| 通所リハビリテーション           | 31  | 9.6%   |
| 介護老人保健施設              | 23  | 7.1%   |
| 総合事業                  | 16  | 4.9%   |
| 特定施設入居者生活介護           | 15  | 4.6%   |
| 介護医療院・介護療養型医療施設       | 5   | 1.5%   |
| 併設なし                  | 54  | 16.7%  |
| その他                   | 17  | 5.2%   |
| 合計                    | 324 | 100.0% |

#### Q4.事業所に併設する介護保険サービス種別についてお答えください。[MA] (N=324)



**Q5.貴訪問介護事業所で働く職員数をお答えください（管理者、サービス提供責任者、訪問介護員の合算数〈常勤専従・常勤兼務・非常勤の別は問わない〉）。[FA]（N＝324）**

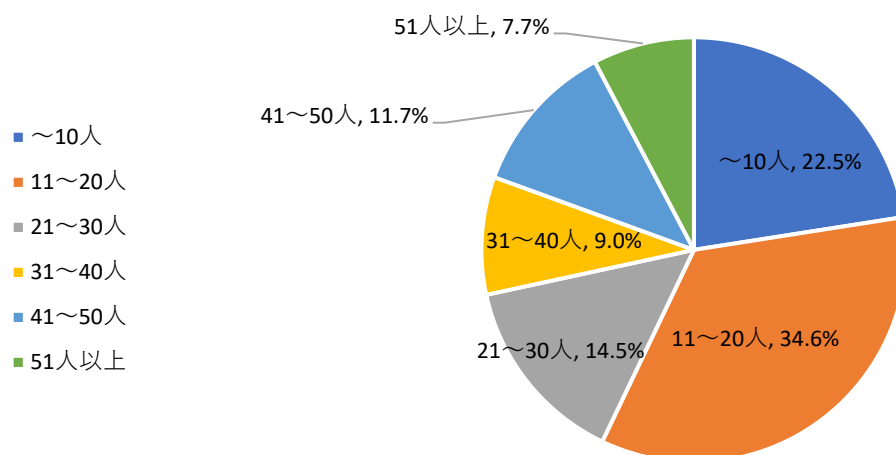
1 事業所で勤務する職員数の平均は、27.0人。

11～20人規模の回答がもっとも多く、34.6%を占める。次いで、11人未満の規模が22.5%であった。また、51人以上の回答も7.7%みられた。

| 全体  | 無回答 | 有効ケース数 | 合計   | 平均   | 標準偏差  | 最小値  | 最大値    |
|-----|-----|--------|------|------|-------|------|--------|
| 324 | 0   | 324    | 8737 | 27.0 | 20.98 | 3.00 | 100.00 |

|        | N   | %      |
|--------|-----|--------|
| ～10人   | 73  | 22.5%  |
| 11～20人 | 112 | 34.6%  |
| 21～30人 | 47  | 14.5%  |
| 31～40人 | 29  | 9.0%   |
| 41～50人 | 38  | 11.7%  |
| 51人以上  | 25  | 7.7%   |
| 合計     | 324 | 100.0% |

Q5.貴訪問介護事業所で働く職員数をお答えください（管理者、サービス提供責任者、訪問介護員の合算数〈常勤専従・常勤兼務・非常勤の別は問わない〉）。[FA]（N＝324）



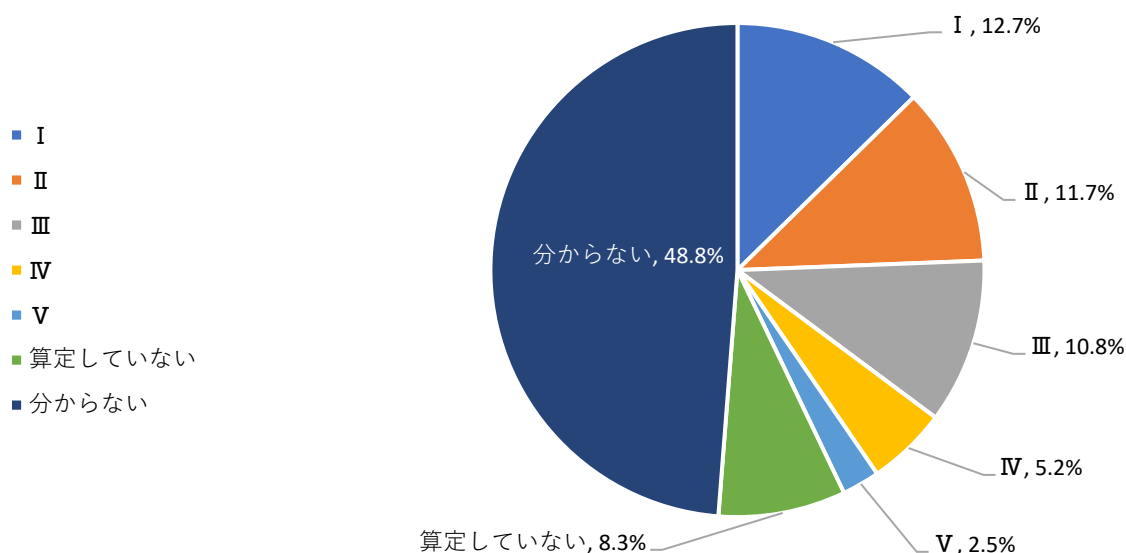
**Q6.貴訪問介護事業所における「特定事業所加算」の算定状況についてお答えください。[SA] (N = 324)**

回答者の内、Ⅰ～Ⅴの回答状況に着目してみると、Ⅰの算定が高く12.7%、次いでⅡの11.7%、Ⅲの10.8%とつづく。

なお、令和3年度の介護報酬改定で新設された「勤続年数が一定期間以上の職員の割合を要件とした」Ⅴの算定状況は、2.5%と低い。

|         | N   | %      |
|---------|-----|--------|
| Ⅰ       | 41  | 12.7%  |
| Ⅱ       | 38  | 11.7%  |
| Ⅲ       | 35  | 10.8%  |
| Ⅳ       | 17  | 5.2%   |
| Ⅴ       | 8   | 2.5%   |
| 算定していない | 27  | 8.3%   |
| 分からない   | 158 | 48.8%  |
| 合計      | 324 | 100.0% |

**Q6.貴訪問介護事業所における「特定事業所加算」の算定状況についてお答えください。[SA] (N = 324)**



Q7.現在の訪問介護事業所における、あなたの雇用形態をお答えください。

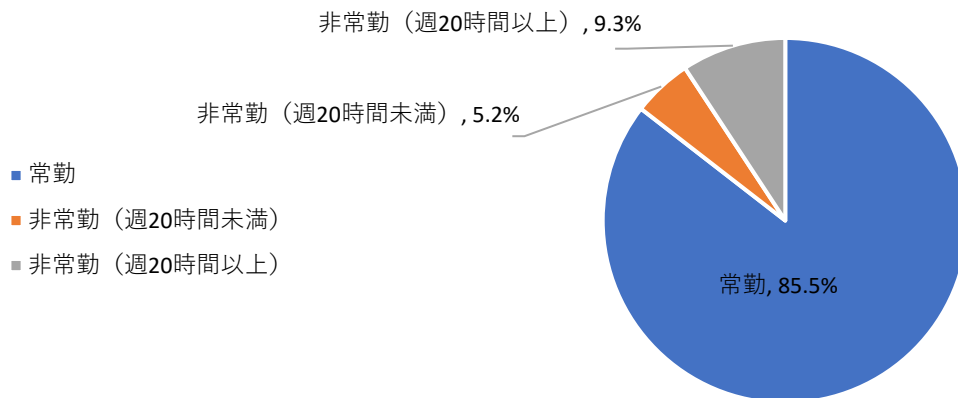
※「常勤」とは事業所が定めた勤務時間のすべてを勤務している者をいい、「非常勤」とは常勤者以外の従事者（他の施設、事業所にも勤務するなど収入及び時間的拘束の伴う仕事を持っている者、短時間のパートタイマー等）をいう。[SA] (N=324)

回答者の9割近くの者が常勤勤務である。

|              | N   | %      |
|--------------|-----|--------|
| 常勤           | 277 | 85.5%  |
| 非常勤（週20時間未満） | 17  | 5.2%   |
| 非常勤（週20時間以上） | 30  | 9.3%   |
| 合計           | 324 | 100.0% |

Q7.現在の訪問介護事業所における、あなたの雇用形態をお答えください。

※「常勤」とは事業所が定めた勤務時間のすべてを勤務している者をいい、「非常勤」とは常勤者以外の従事者（他の施設、事業所にも勤務するなど収入及び時間的拘束の伴う仕事を持っている者、短時間のパートタイマー等）をいう。[SA] (N=324)



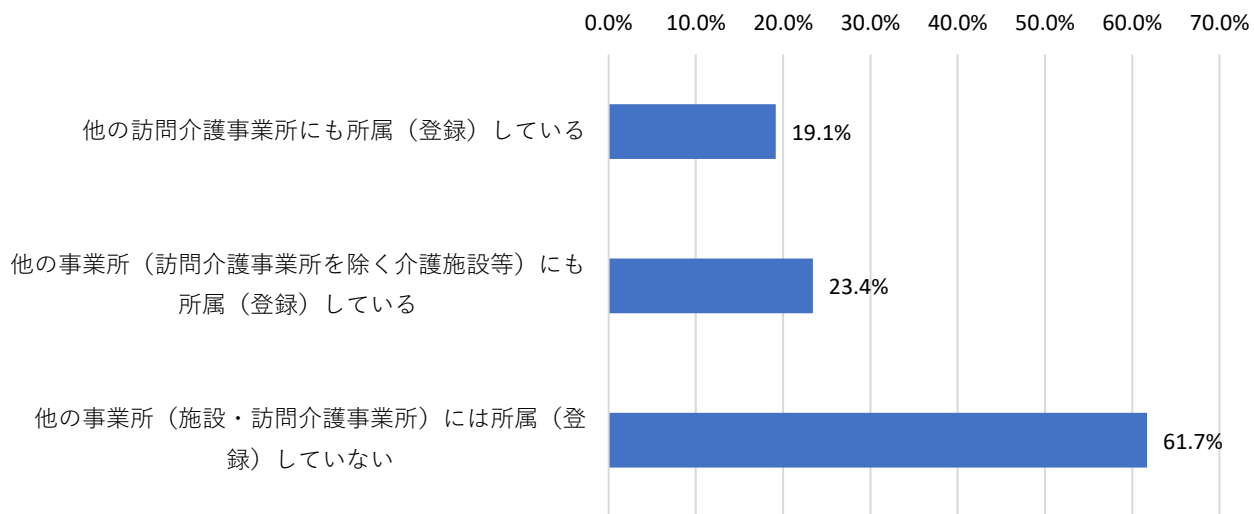


Q8.Q7で「非常勤（週20時間未満）」、「非常勤（週20時間以上）」と回答した方に伺います。  
 複数の事業所に所属（登録）していますか。[MA]（N=47）

Q7の該当する回答者（N=47）の内、他の介護事業所に所属している者の割合は42.5%であり、  
 半数近くが他の事業所に所属している。

|                                    | N  | %      |
|------------------------------------|----|--------|
| 他の訪問介護事業所にも所属（登録）している              | 9  | 19.1%  |
| 他の事業所（訪問介護事業所を除く介護施設等）にも所属（登録）している | 11 | 23.4%  |
| 他の事業所（施設・訪問介護事業所）には所属（登録）していない     | 29 | 61.7%  |
| 合計                                 | 47 | 100.0% |

Q8.Q7で「非常勤（週20時間未満）」、「非常勤（週20時間以上）」と回答した方に伺います。複数の事業所に所属（登録）していますか。[MA]（N=47）



Q9.現在の訪問介護事業所における、あなたの職種をお答えください。

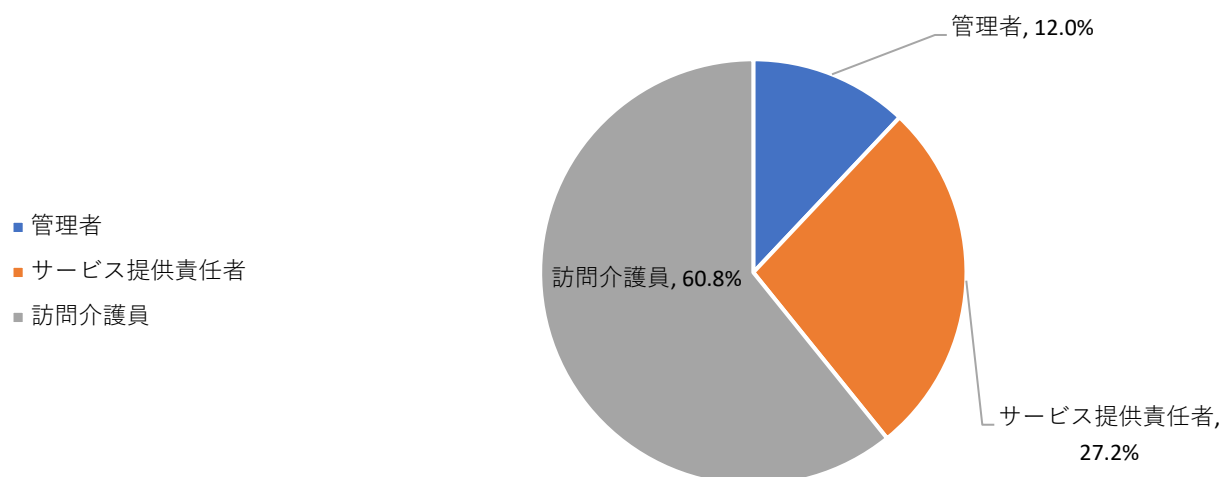
※兼務している場合は、主として従事しているものをお答えください。[SA] (N=324)

訪問介護員がもっとも多く、半数を超える。サービス提供責任者も3割近くを占める。

|           | N   | %      |
|-----------|-----|--------|
| 管理者       | 39  | 12.0%  |
| サービス提供責任者 | 88  | 27.2%  |
| 訪問介護員     | 197 | 60.8%  |
| 合計        | 324 | 100.0% |

Q9.現在の訪問介護事業所における、あなたの職種をお答えください。

※兼務している場合は、主として従事しているものをお答えください。[SA]  
(N=324)

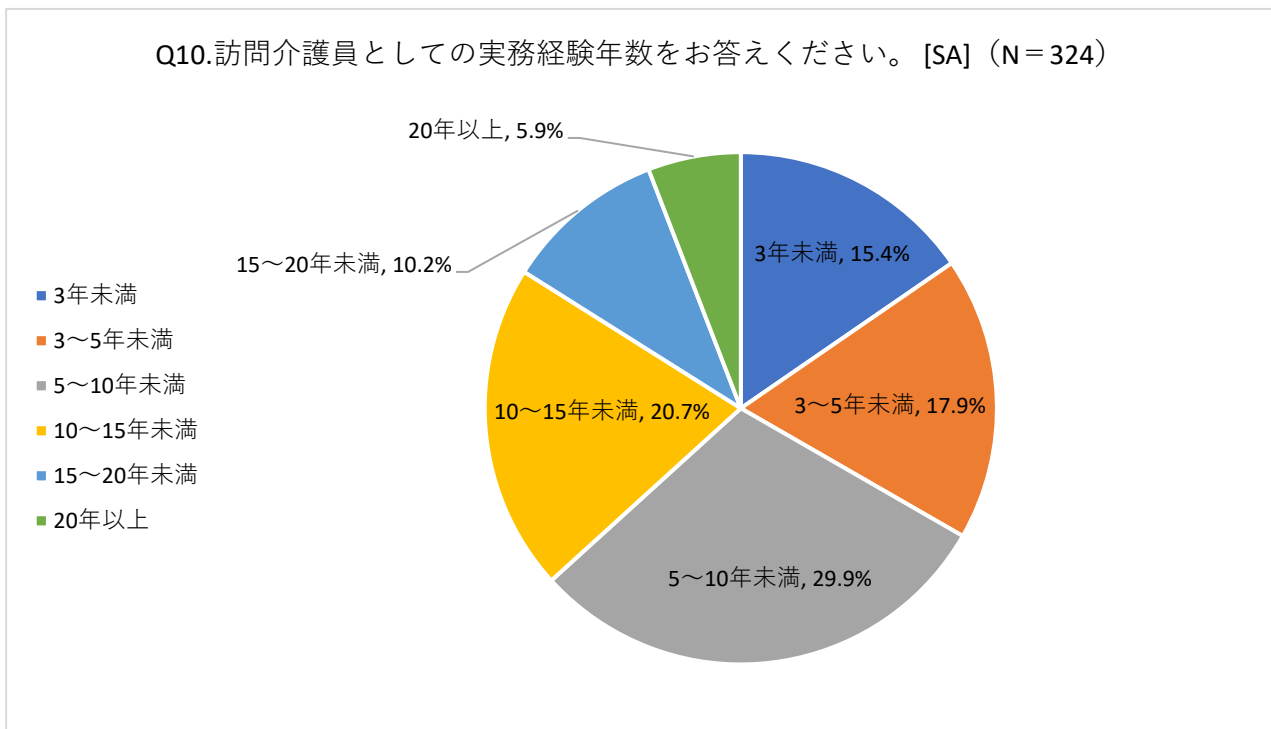


**Q10.訪問介護員としての実務経験年数をお答えください。[SA] (N=324)**

「5～10年未満」の実務経験者がもっとも多く、29.9%であった。次いで、「10～15年未満」20.7%、「3～5年未満」の17.9%とつづく。

なお、「10年以上」の実務経験者は36.8% (N=119)であった。

|          | N   | %      |
|----------|-----|--------|
| 3年未満     | 50  | 15.4%  |
| 3～5年未満   | 58  | 17.9%  |
| 5～10年未満  | 97  | 29.9%  |
| 10～15年未満 | 67  | 20.7%  |
| 15～20年未満 | 33  | 10.2%  |
| 20年以上    | 19  | 5.9%   |
| 合計       | 324 | 100.0% |



Q11.現在の事業所における訪問介護員としての実務経験年数をお答えください。

※回答の際は、Q10の実務経験を上回ることがないようにご注意ください。[SA] (N=324)

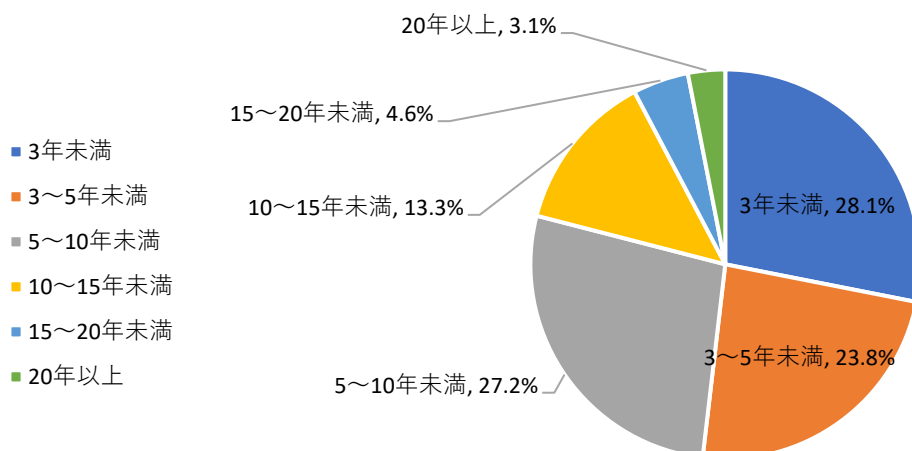
「3年未満」の実務経験者がもっとも多く、28.1%であった。「～10年未満」の実務経験者は79.1% (N=256) で、「10年以上」の実務経験者は21.0% (N=68) であった。

|          | N   | %      |
|----------|-----|--------|
| 3年未満     | 91  | 28.1%  |
| 3～5年未満   | 77  | 23.8%  |
| 5～10年未満  | 88  | 27.2%  |
| 10～15年未満 | 43  | 13.3%  |
| 15～20年未満 | 15  | 4.6%   |
| 20年以上    | 10  | 3.1%   |
| 合計       | 324 | 100.0% |

Q11.現在の事業所における訪問介護員としての実務経験年数をお答えください。

※回答の際は、Q10の実務経験を上回ることがないようにご注意ください。

[SA] (N=324)



Q12.現在保有している保健・医療・福祉の資格をすべてお答えください。

※1ここでいうホームヘルパーとは「介護福祉士養成のための実務者研修（旧ホームヘルパー1級）」「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」「旧ホームヘルパー3級」のことで。

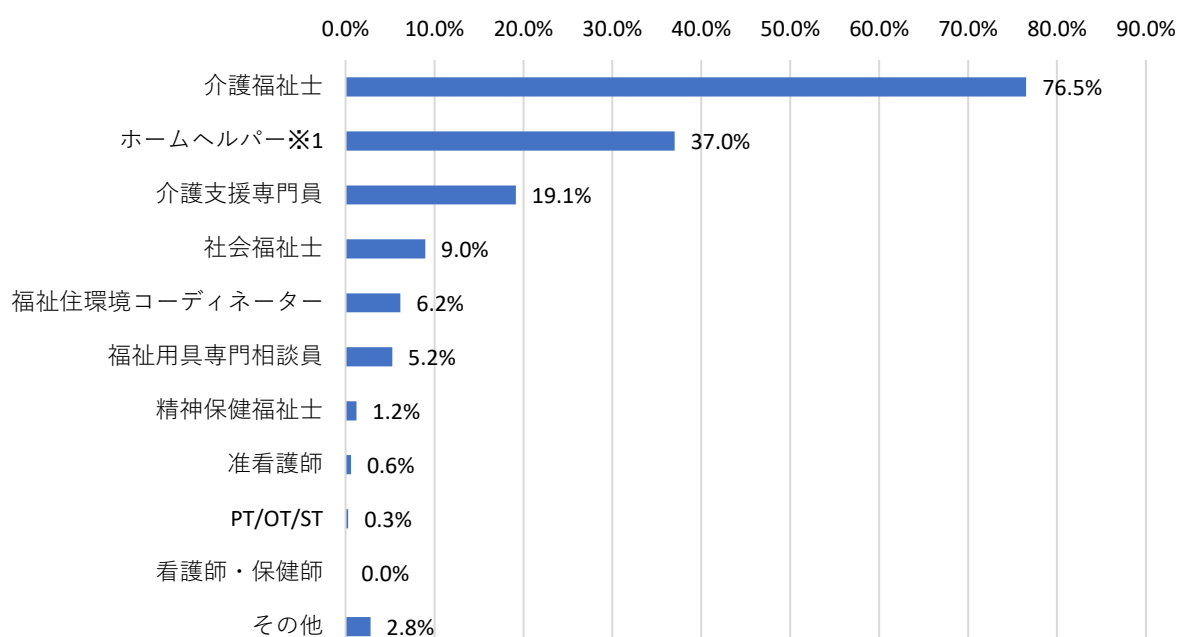
[MA] (N=324)

「介護福祉士」がもっとも多く、76.5%であった。次いで、ホームヘルパーの37.0%、介護支援専門員の19.1%とつづく。

|               | N   | %      |
|---------------|-----|--------|
| 介護福祉士         | 248 | 76.5%  |
| ホームヘルパー※1     | 120 | 37.0%  |
| 介護支援専門員       | 62  | 19.1%  |
| 社会福祉士         | 29  | 9.0%   |
| 福祉住環境コーディネーター | 20  | 6.2%   |
| 福祉用具専門相談員     | 17  | 5.2%   |
| 精神保健福祉士       | 4   | 1.2%   |
| 准看護師          | 2   | 0.6%   |
| PT/OT/ST      | 1   | 0.3%   |
| 看護師・保健師       | 0   | 0.0%   |
| その他           | 9   | 2.8%   |
| 合計            | 324 | 100.0% |

Q12.現在保有している保健・医療・福祉の資格をすべてお答えください。

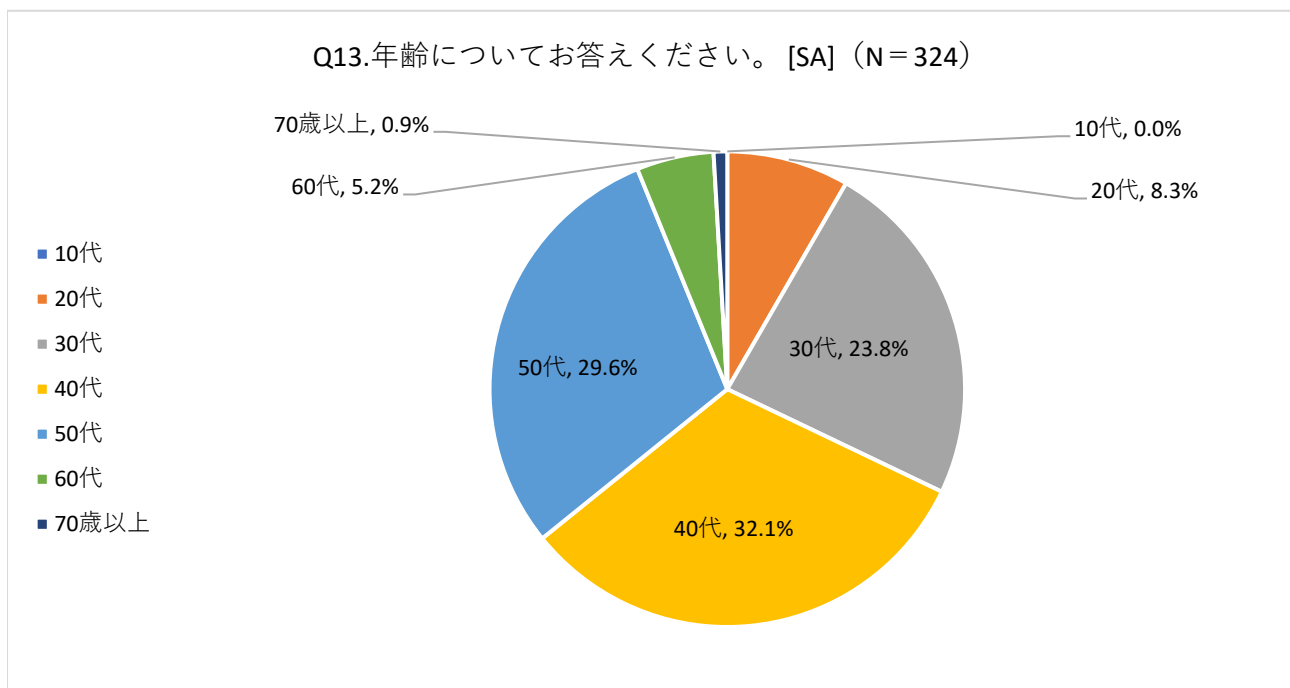
※1ここでいうホームヘルパーとは「介護福祉士養成のための実務者研修（旧ホームヘルパー1級）」「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」「旧ホームヘルパー3級」のことで。 [MA] (N=324)



Q13.年齢についてお答えください。[SA] (N=324)

「40代」、「50代」の年齢層がそれぞれ約3割を占めている。

|       | N   | %      |
|-------|-----|--------|
| 10代   | 0   | 0.0%   |
| 20代   | 27  | 8.3%   |
| 30代   | 77  | 23.8%  |
| 40代   | 104 | 32.1%  |
| 50代   | 96  | 29.6%  |
| 60代   | 17  | 5.2%   |
| 70歳以上 | 3   | 0.9%   |
| 合計    | 324 | 100.0% |



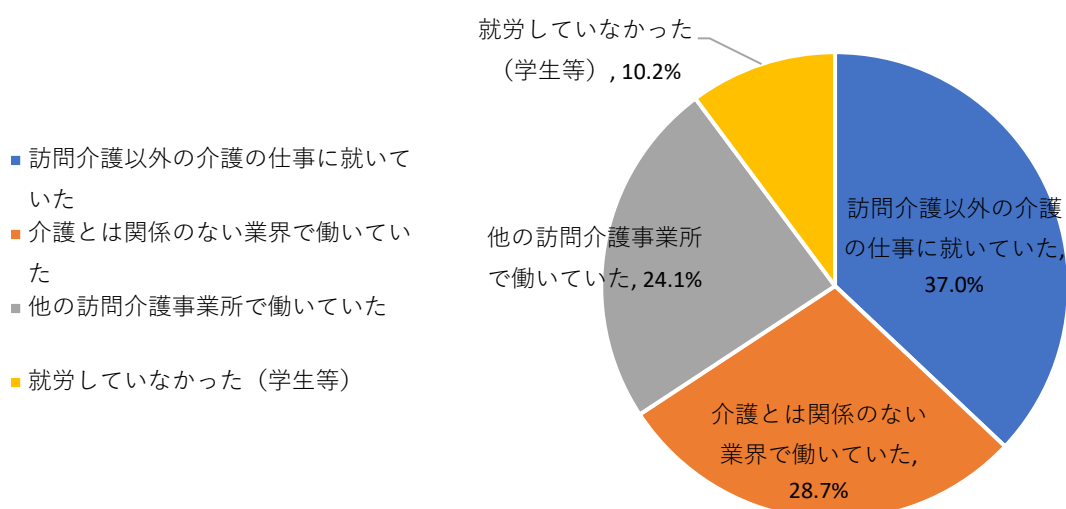
**Q14.現在の訪問介護事業所で訪問介護の仕事に就く前の就労状況についてお答えください。[SA]  
(N = 324)**

「訪問介護以外の介護の仕事に就いていた」者が37.0%で、もっとも多い。

また、介護とは関係のない業界での就労者や未就労者は38.9% (N=126) おり、全回答者の内、約3割の者 (28.7%) が異業種からの入職であった。

|                    | N   | %      |
|--------------------|-----|--------|
| 訪問介護以外の介護の仕事に就いていた | 120 | 37.0%  |
| 介護とは関係のない業界で働いていた  | 93  | 28.7%  |
| 他の訪問介護事業所で働いていた    | 78  | 24.1%  |
| 就労していなかった (学生等)    | 33  | 10.2%  |
| 合計                 | 324 | 100.0% |

**Q14.現在の訪問介護事業所で訪問介護の仕事に就く前の就労状況についてお答えください。[SA] (N = 324)**



**Q15.あなたが訪問介護の仕事を選んだ理由はなんですか。[SA] (N=324)**

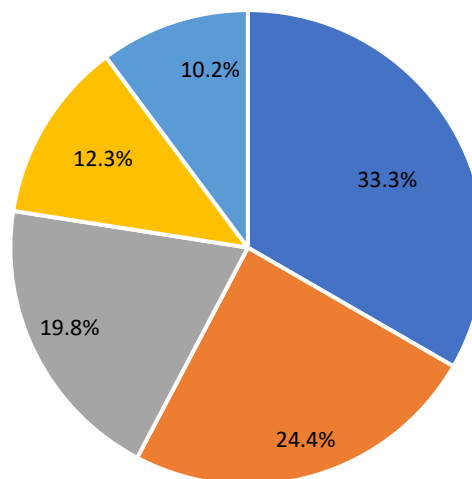
「ライフスタイルにあわせた勤務が可能」という回答が約3割を占めている。

「その他」を選択したN=33の内訳をみると、「人事異動」に分類される回答が30.3% (N=10)、「家族や知人の紹介、スカウト」に分類される回答が21.2% (N=7) と、とくに多かった。

|                                     | N   | %      |
|-------------------------------------|-----|--------|
| ライフスタイルにあわせた勤務が可能だから（勤務時間帯が柔軟）      | 108 | 33.3%  |
| 利用者個々人の生活を支えたいから                    | 79  | 24.4%  |
| 給与面、収入が得やすいから                       | 64  | 19.8%  |
| 自分の家族が訪問介護を受けているのをみて、介護の仕事に興味をもったから | 40  | 12.3%  |
| その他                                 | 33  | 10.2%  |
| 合計                                  | 324 | 100.0% |

**Q15.あなたが訪問介護の仕事を選んだ理由はなんですか。[SA] (N=324)**

- ライフスタイルにあわせた勤務が可能だから（勤務時間帯が柔軟）
- 利用者個々人の生活を支えたいから
- 給与面、収入が得やすいから
- 自分の家族が訪問介護を受けているのをみて、介護の仕事に興味をもったから
- その他





Q16.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、「自身の業務量」、「身体的ストレス」、「精神的ストレス」、「健康状態」にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を（3）として、その程度をお考えください。なお、「ストレス」や「健康状態」について、流行前も現在もストレスを感じていない、疾患がない場合には「差異はない」（3）を選択してください。[SA]（N=324）

各項目とも「差異はない」が多くを占めている。また、「悪化（激増）」「わずかに悪化（増加）」と「好転（激減）」「わずかに好転（減少）」の割合を比較すると、各項目とも「悪化（激増）」「わずかに悪化（増加）」の占める割合が多くなっている。

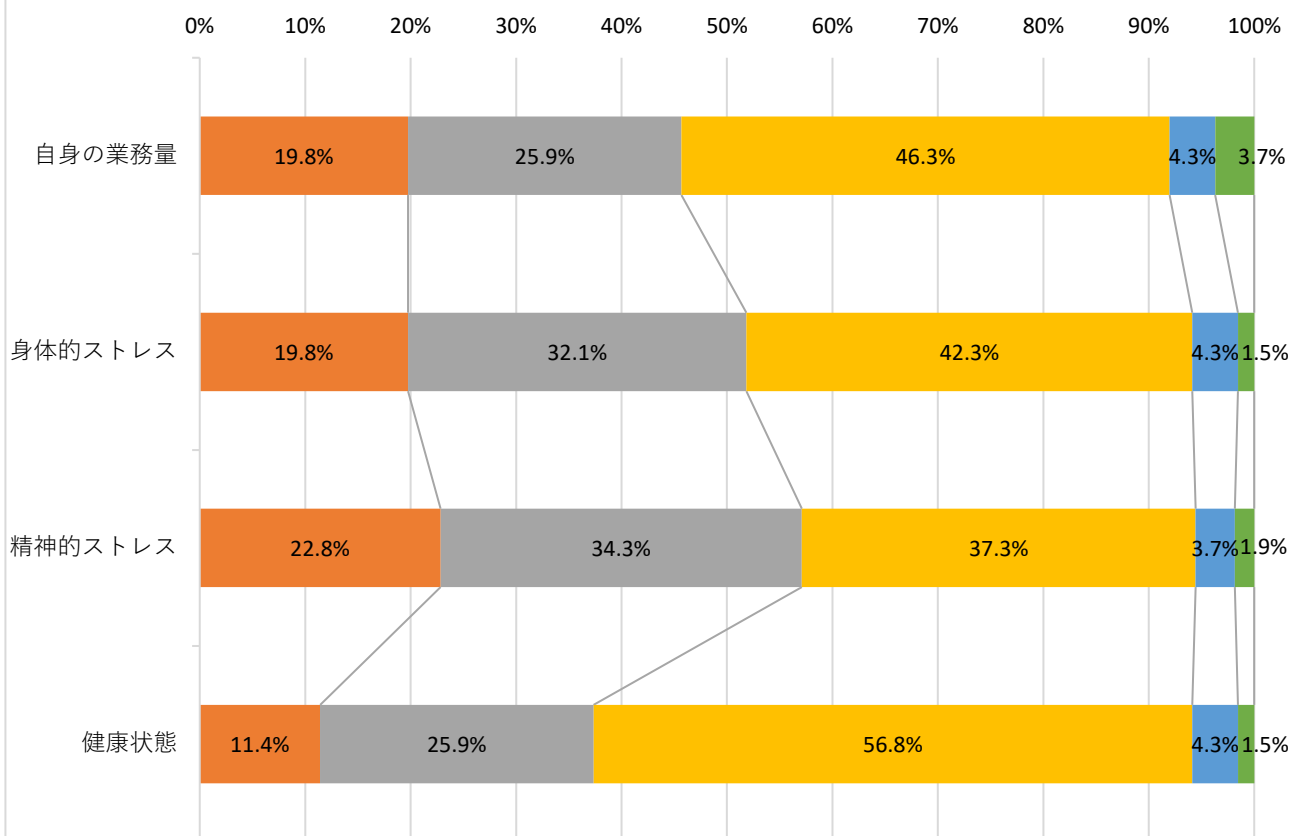
なお、「身体的ストレス」「精神的ストレス」に関しては、「悪化（激増）」「わずかに悪化（増加）」の占める割合は「差異はない」より多くなっている。

|         | 全体     | 1                     | 2                         | 3        | 4                         | 5                     |
|---------|--------|-----------------------|---------------------------|----------|---------------------------|-----------------------|
|         |        | 感染症流行前に比べ、悪化（激増）した(1) | 感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した(2) | 差異はない(3) | 感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した(4) | 感染症流行前に比べ、好転（激減）した(5) |
| 自身の業務量  | 324    | 64                    | 84                        | 150      | 14                        | 12                    |
|         | 100.0% | 19.8%                 | 25.9%                     | 46.3%    | 4.3%                      | 3.7%                  |
| 身体的ストレス | 324    | 64                    | 104                       | 137      | 14                        | 5                     |
|         | 100.0% | 19.8%                 | 32.1%                     | 42.3%    | 4.3%                      | 1.5%                  |
| 精神的ストレス | 324    | 74                    | 111                       | 121      | 12                        | 6                     |
|         | 100.0% | 22.8%                 | 34.3%                     | 37.3%    | 3.7%                      | 1.9%                  |
| 健康状態    | 324    | 37                    | 84                        | 184      | 14                        | 5                     |
|         | 100.0% | 11.4%                 | 25.9%                     | 56.8%    | 4.3%                      | 1.5%                  |

Q16.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、「自身の業務量」、「身体的ストレス」、「精神的ストレス」、「健康状態」にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を（3）として、その程度をお考えください。なお、「ストレス」や「健康状態」について、流行前も現在もストレスを感じていない、疾患がない場合には「差異はない」（3）を選択してください。

[SA]（N=324）

- 感染症流行前に比べ、悪化（激増）した(1)
- 感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した(2)
- 差異はない(3)
- 感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した(4)
- 感染症流行前に比べ、好転（激減）した(5)



(クロス集計) Q5事業所の規模 × Q16自身の業務量・身体的ストレス・精神的ストレス・健康状態 (N=324)

「自身の業務量」「身体的ストレス」「精神的ストレス」「健康状態」を事業所の規模でみると、「精神的ストレス」は、いずれの事業所の規模においても「感染症流行前に比べ、悪化（増加）した」が最も高い割合を占めている。なお、「身体的ストレス」については、「～10人」を除く規模で、「感染前流行前に比べ、悪化（増加）した」が最も高い割合を占めている。

|                | 自身の業務量 |                    |       |                    | 身体的ストレス |                    |       |                    | 精神的ストレス |                    |       |                    | 健康状態   |                    |       |                    |
|----------------|--------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|--------|--------------------|-------|--------------------|
|                | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化（増加）した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転（減少）した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化（増加）した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転（減少）した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化（増加）した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転（減少）した | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化（増加）した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転（減少）した |
| 全体 (N=324)     | 100.0% | 45.7%              | 46.3% | 8.0%               | 100.0%  | 51.9%              | 42.3% | 5.9%               | 100.0%  | 57.1%              | 37.3% | 5.6%               | 100.0% | 37.3%              | 56.8% | 5.9%               |
| ～10人 (N=73)    | 100.0% | 39.7%              | 53.4% | 6.8%               | 100.0%  | 46.6%              | 49.3% | 4.1%               | 100.0%  | 54.8%              | 39.7% | 5.5%               | 100.0% | 34.2%              | 60.3% | 5.5%               |
| 11～20人 (N=112) | 100.0% | 47.3%              | 45.5% | 7.1%               | 100.0%  | 51.8%              | 42.9% | 5.4%               | 100.0%  | 54.5%              | 39.3% | 6.3%               | 100.0% | 33.9%              | 59.8% | 6.3%               |
| 21～30人 (N=47)  | 100.0% | 40.4%              | 44.7% | 14.9%              | 100.0%  | 59.6%              | 29.8% | 10.6%              | 100.0%  | 63.8%              | 27.7% | 8.5%               | 100.0% | 40.4%              | 51.1% | 8.5%               |
| 31以上 (N=92)    | 100.0% | 51.1%              | 42.4% | 6.5%               | 100.0%  | 52.2%              | 42.4% | 5.4%               | 100.0%  | 58.7%              | 38.0% | 3.3%               | 100.0% | 42.4%              | 53.3% | 4.3%               |

(クロス集計) Q13年齢 × Q16自身の業務量・身体的ストレス・精神的ストレス・健康状態 (N=324)

「自身の業務量」「身体的ストレス」「精神的ストレス」「健康状態」を年代で見ると、「身体的ストレス」「精神的ストレス」は、全年代で「感染症流行前に比べ、悪化(増加)した」が最も高い割合を占めている。

|               | 自身の業務量 |                    |       |                    | 身体的ストレス |                    |       |                    | 精神的ストレス |                    |       |                    | 健康状態   |                    |       |                    |
|---------------|--------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|--------|--------------------|-------|--------------------|
|               | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した |
| 全体 (N=324)    | 100.0% | 45.7%              | 46.3% | 8.0%               | 100.0%  | 51.9%              | 42.3% | 5.9%               | 100.0%  | 57.1%              | 37.3% | 5.6%               | 100.0% | 37.3%              | 56.8% | 5.9%               |
| 20代 (N=27)    | 100.0% | 51.9%              | 37.0% | 11.1%              | 100.0%  | 59.3%              | 33.3% | 7.4%               | 100.0%  | 48.1%              | 44.4% | 7.4%               | 100.0% | 51.9%              | 33.3% | 14.8%              |
| 30代 (N=77)    | 100.0% | 49.4%              | 44.2% | 6.5%               | 100.0%  | 50.6%              | 45.5% | 3.9%               | 100.0%  | 64.9%              | 32.5% | 2.6%               | 100.0% | 37.7%              | 59.7% | 2.6%               |
| 40代 (N=104)   | 100.0% | 45.2%              | 48.1% | 6.7%               | 100.0%  | 54.8%              | 40.4% | 4.8%               | 100.0%  | 57.7%              | 35.6% | 6.7%               | 100.0% | 32.7%              | 61.5% | 5.8%               |
| 50代以上 (N=116) | 100.0% | 42.2%              | 48.3% | 9.5%               | 100.0%  | 48.3%              | 44.0% | 7.8%               | 100.0%  | 53.4%              | 40.5% | 6.0%               | 100.0% | 37.9%              | 56.0% | 6.0%               |

Q17.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、給与面にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を（3）として、その程度をお考えください。[SA]（N=324）

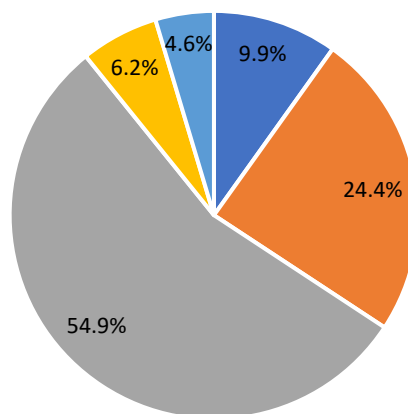
「給与面」は「差異はない」が54.9%ともっとも多い。

「増額した」「わずかに増額した」の34.3%と「減額した」「わずかに減額した」の10.8%の割合を比較すると、「増額した」「わずかに増額した」の占める割合が多くなっている。

|                       | N   | %      |
|-----------------------|-----|--------|
| 感染症流行前に比べ、増額した（1）     | 32  | 9.9%   |
| 感染症流行前に比べ、わずかに増額した（2） | 79  | 24.4%  |
| 差異はない（3）              | 178 | 54.9%  |
| 感染症流行前に比べ、わずかに減額した（4） | 20  | 6.2%   |
| 感染症流行前に比べ、減額した（5）     | 15  | 4.6%   |
| 合計                    | 324 | 100.0% |

Q17.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、給与面にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を（3）として、その程度をお考えください。[SA]（N=324）

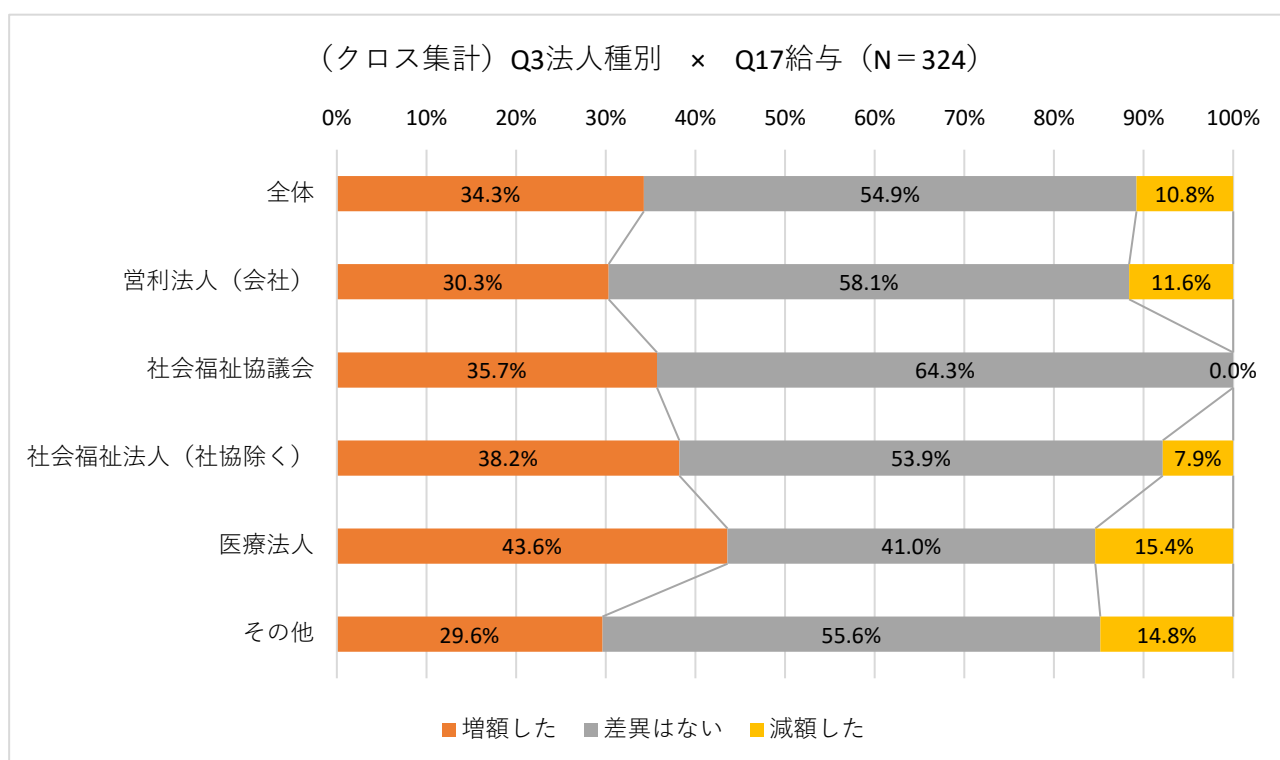
- 感染症流行前に比べ、増額した（1）
- 感染症流行前に比べ、わずかに増額した（2）
- 差異はない（3）
- 感染症流行前に比べ、わずかに減額した（4）
- 感染症流行前に比べ、減額した（5）



(クロス集計) Q3法人種別 × Q17給与 (N=324)

給与について、法人種別でみると、「営利法人（会社）」「社会福祉協議会」「社会福祉法人（社協除く）」「その他」では、「差異はない」が半数以上を占め最も高い。「医療法人」のみ「増額した」が43.6%と最も高くなっている。

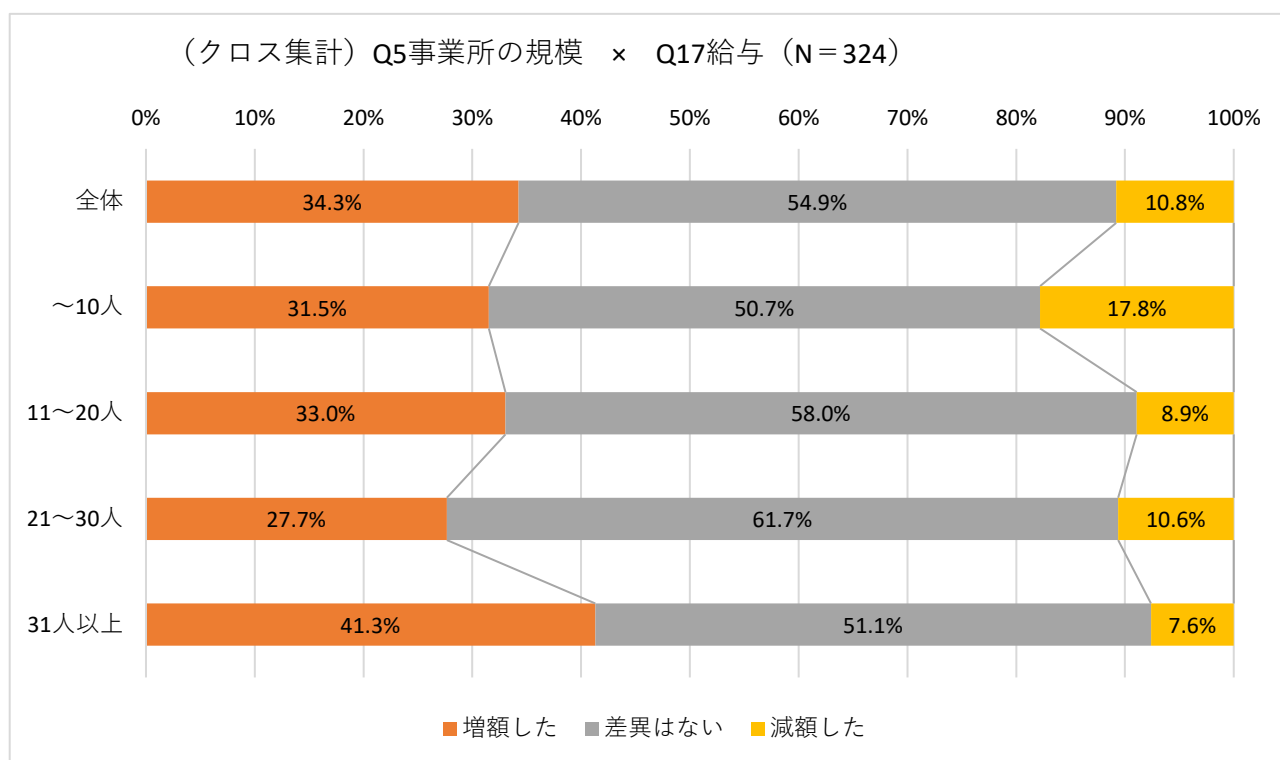
|                  | 全体     | 増額した  | 差異はない | 減額した  |
|------------------|--------|-------|-------|-------|
| 全体               | 324    | 111   | 178   | 35    |
|                  | 100.0% | 34.3% | 54.9% | 10.8% |
| 営利法人<br>(会社)     | 155    | 47    | 90    | 18    |
|                  | 100.0% | 30.3% | 58.1% | 11.6% |
| 社会福祉<br>協議会      | 14     | 5     | 9     | 0     |
|                  | 100.0% | 35.7% | 64.3% | 0.0%  |
| 社会福祉法人<br>(社協除く) | 89     | 34    | 48    | 7     |
|                  | 100.0% | 38.2% | 53.9% | 7.9%  |
| 医療法人             | 39     | 17    | 16    | 6     |
|                  | 100.0% | 43.6% | 41.0% | 15.4% |
| その他              | 27     | 8     | 15    | 4     |
|                  | 100.0% | 29.6% | 55.6% | 14.8% |



(クロス集計) Q5事業所の規模 × Q17給与 (N=324)

給与について、事業所の規模でみると、全事業所の規模で「差異はない」が約半数以上を占め、最も高くなっている。なお「増額した」をみると、「31人以上」の規模が41.3%と最も高く、反対に「減額した」では、「～10人」の規模が17.8%と最も高くなっている。

|        | 全体            | 増額した         | 差異はない        | 減額した        |
|--------|---------------|--------------|--------------|-------------|
| 全体     | 324<br>100.0% | 111<br>34.3% | 178<br>54.9% | 35<br>10.8% |
| ～10人   | 73<br>100.0%  | 23<br>31.5%  | 37<br>50.7%  | 13<br>17.8% |
| 11～20人 | 112<br>100.0% | 37<br>33.0%  | 65<br>58.0%  | 10<br>8.9%  |
| 21～30人 | 47<br>100.0%  | 13<br>27.7%  | 29<br>61.7%  | 5<br>10.6%  |
| 31人以上  | 92<br>100.0%  | 38<br>41.3%  | 47<br>51.1%  | 7<br>7.6%   |

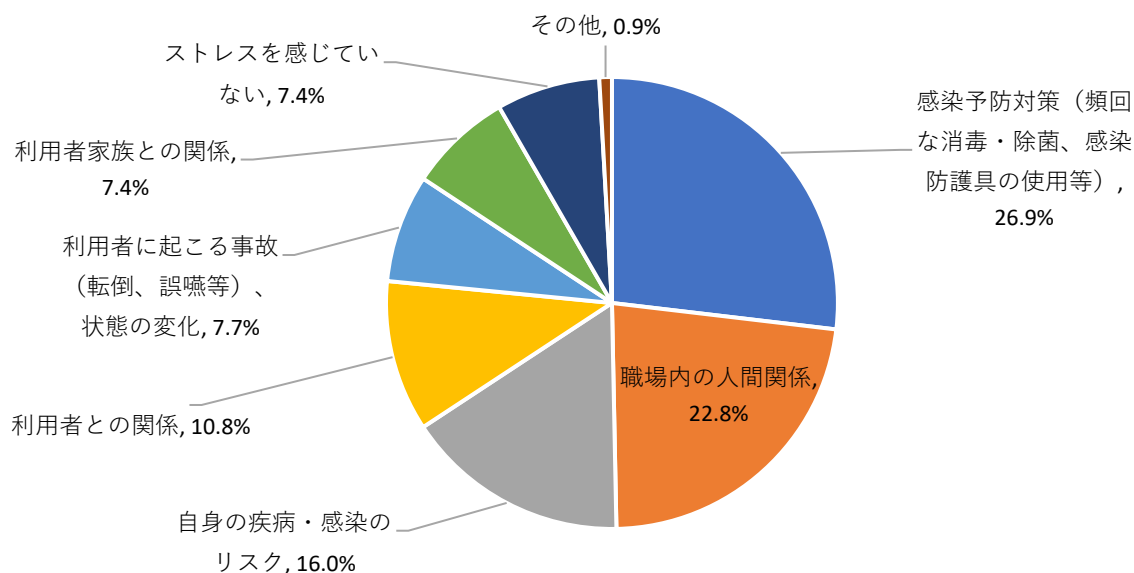


Q18.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、もっともストレスを感じることはなんですか。[SA]（N=324）

「感染予防対策（頻回な消毒・除菌、感染防護服の使用等）」が26.9%ともっとも多く、次いで「職場内の人間関係」の22.8%、「自身の疾病・感染リスク」の16.0%とづく。

|                            | N   | %      |
|----------------------------|-----|--------|
| 感染予防対策（頻回な消毒・除菌、感染防護具の使用等） | 87  | 26.9%  |
| 職場内の人間関係                   | 74  | 22.8%  |
| 自身の疾病・感染のリスク               | 52  | 16.0%  |
| 利用者との関係                    | 35  | 10.8%  |
| 利用者に起こる事故（転倒、誤嚥等）、状態の変化    | 25  | 7.7%   |
| 利用者家族との関係                  | 24  | 7.4%   |
| ストレスを感じていない                | 24  | 7.4%   |
| その他                        | 3   | 0.9%   |
| 合計                         | 324 | 100.0% |

Q18.現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、もっともストレスを感じることはなんですか。[SA]（N=324）

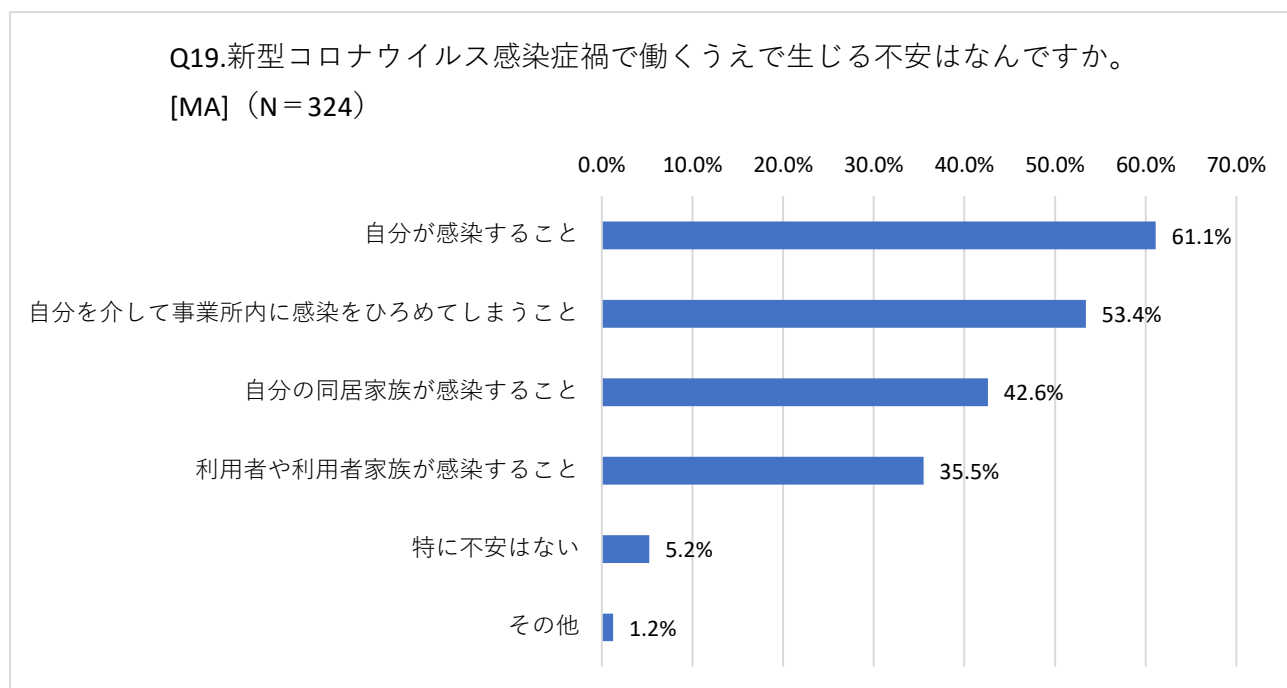




**Q19.新型コロナウイルス感染症禍で働くうえで生じる不安はなんですか。 [MA] (N=324)**

「自分が感染すること」が61.1%ともっとも多く、「自分を介して事業所内に感染をひろめてしまうこと」の53.4%、「自分の同居家族が感染すること」の42.6%とつづく。

|                         | N   | %      |
|-------------------------|-----|--------|
| 自分が感染すること               | 198 | 61.1%  |
| 自分を介して事業所内に感染をひろめてしまうこと | 173 | 53.4%  |
| 自分の同居家族が感染すること          | 138 | 42.6%  |
| 利用者や利用者家族が感染すること        | 115 | 35.5%  |
| 特に不安はない                 | 17  | 5.2%   |
| その他                     | 4   | 1.2%   |
| 合計                      | 324 | 100.0% |

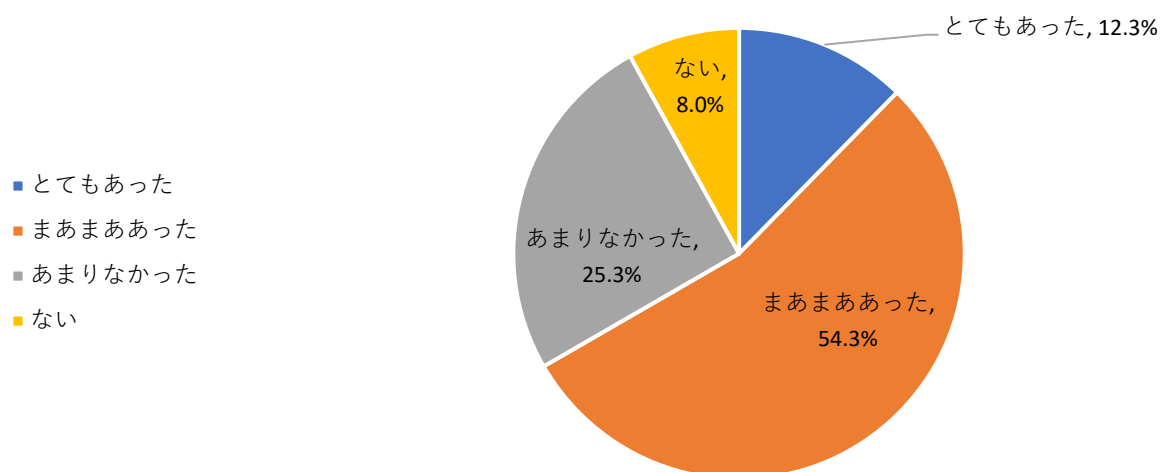


**Q20.新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）に、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありましたか。[SA]（N=324）**

「まあまああった」が半数以上を占め、「あまりなかった」の25.3%、「とてもあった」の12.3%とつづく。なお、「あまりなかった」「ない」は33.3%となっている。

|         | N   | %      |
|---------|-----|--------|
| とてもあった  | 40  | 12.3%  |
| まあまああった | 176 | 54.3%  |
| あまりなかった | 82  | 25.3%  |
| ない      | 26  | 8.0%   |
| 合計      | 324 | 100.0% |

Q20.新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）に、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありましたか。[SA]  
(N = 324)

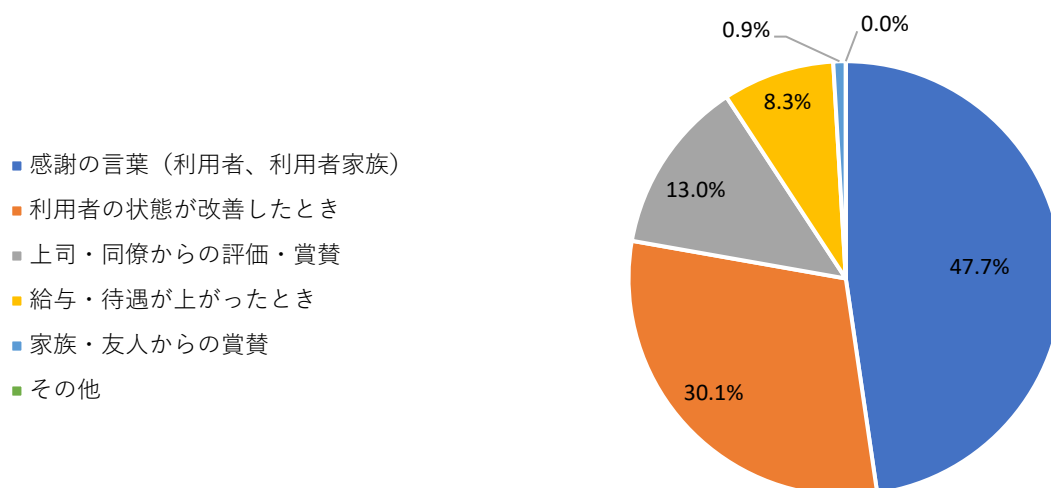


Q21.Q20で「とてもあった」、「まあまああった」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じましたか。[SA] (N=216)

Q20の該当する回答者 (N=216) の内、「感謝の言葉 (利用者、利用者家族)」がもっとも多く、約半数を占めている。「利用者の状態が改善したとき」の30.1%、「上司・同僚からの評価・賞賛」の13.0%とつづく。

|                   | N   | %      |
|-------------------|-----|--------|
| 感謝の言葉 (利用者、利用者家族) | 103 | 47.7%  |
| 利用者の状態が改善したとき     | 65  | 30.1%  |
| 上司・同僚からの評価・賞賛     | 28  | 13.0%  |
| 給与・待遇が上がったとき      | 18  | 8.3%   |
| 家族・友人からの賞賛        | 2   | 0.9%   |
| その他               | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 216 | 100.0% |

Q21.Q20で「とてもあった」、「まあまああった」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じましたか。[SA] (N=216)

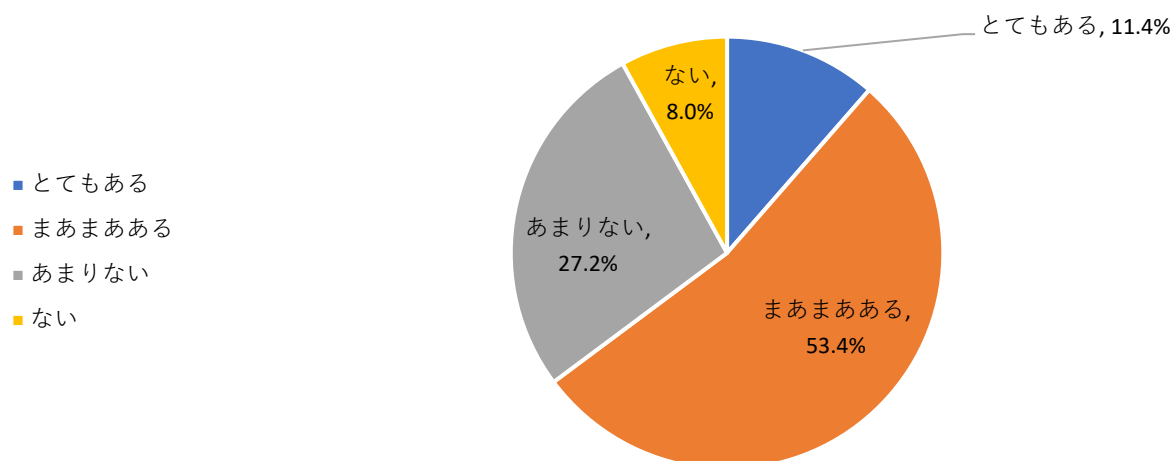


**Q22.現在（2022（令和4）年7～8月時点）、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありますか。[SA]（N=324）**

「まあまあある」がもっとも多く、半数以上を占めている。「あまりない」の27.2%、「とてもある」の11.4%とつづく。なお、「あまりない」「ない」は35.2%となっている。

|        | N   | %      |
|--------|-----|--------|
| とてもある  | 37  | 11.4%  |
| まあまあある | 173 | 53.4%  |
| あまりない  | 88  | 27.2%  |
| ない     | 26  | 8.0%   |
| 合計     | 324 | 100.0% |

**Q22.現在（2022（令和4）年7～8月時点）、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありますか。[SA]（N=324）**



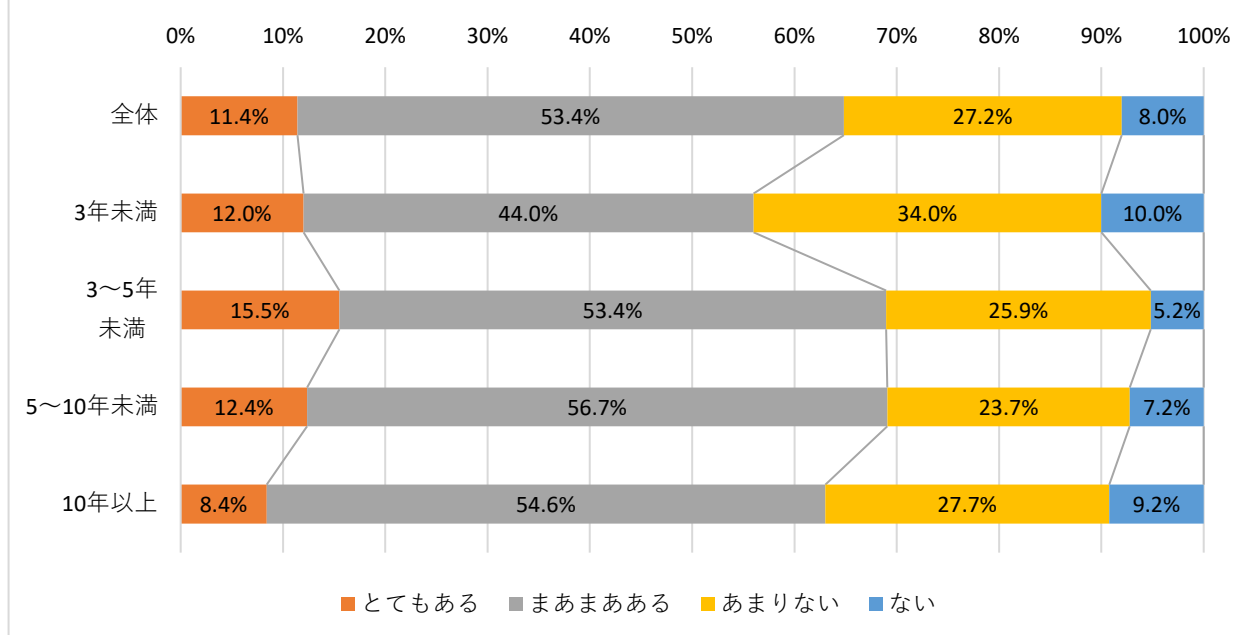
(クロス集計) Q10実務経験 × Q22幸福感・達成感・やりがい (N=324)

現在(2022(令和4)年7~8月時点)の幸福感を実務経験でみると、いずれの年代においても「まあまあある」が約半数を占め最も多く、「あまりない」とつづく。なお、「まあまあある」では「5~10年未満」が56.7%と最も高く、「3年未満」が44.0%と最も低くなっている。

実務経験を重ねるごとに幸福感・達成感・やりがいを感じる割合が高くなる傾向であるが、「10年以上」になると、幸福感・達成感・やりがいが下がる傾向がみられた。

|         | 全体     | とてもある | まあまあある | あまりない | ない    |
|---------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 全体      | 324    | 37    | 173    | 88    | 26    |
|         | 100.0% | 11.4% | 53.4%  | 27.2% | 8.0%  |
| 3年未満    | 50     | 6     | 22     | 17    | 5     |
|         | 100.0% | 12.0% | 44.0%  | 34.0% | 10.0% |
| 3~5年未満  | 58     | 9     | 31     | 15    | 3     |
|         | 100.0% | 15.5% | 53.4%  | 25.9% | 5.2%  |
| 5~10年未満 | 97     | 12    | 55     | 23    | 7     |
|         | 100.0% | 12.4% | 56.7%  | 23.7% | 7.2%  |
| 10年以上   | 119    | 10    | 65     | 33    | 11    |
|         | 100.0% | 8.4%  | 54.6%  | 27.7% | 9.2%  |

(クロス集計) Q5事業所の規模 × Q17給与 (N=324)

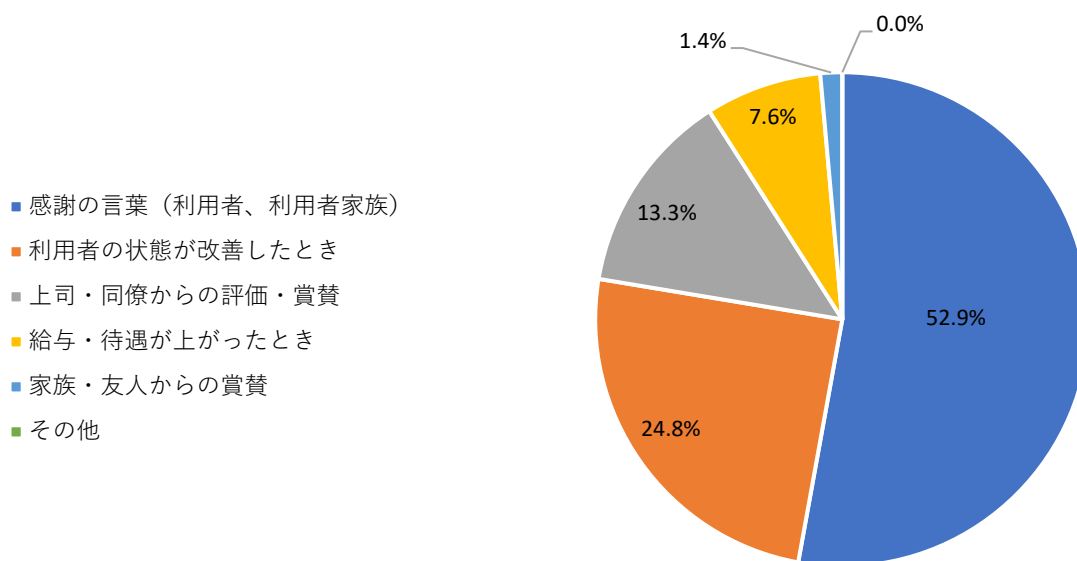


Q23.Q22で「とてもある」、「まあまあある」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じますか。[SA] (N=210)

Q22の該当する回答者 (N=210) の内、「感謝の言葉 (利用者、利用者家族)」がもっとも多く、約半数を占めている。「利用者の状態が改善したとき」の24.8%、「上司・同僚からの評価・賞賛」の13.3%とつづく。

|                   | N   | %      |
|-------------------|-----|--------|
| 感謝の言葉 (利用者、利用者家族) | 111 | 52.9%  |
| 利用者の状態が改善したとき     | 52  | 24.8%  |
| 上司・同僚からの評価・賞賛     | 28  | 13.3%  |
| 給与・待遇が上がったとき      | 16  | 7.6%   |
| 家族・友人からの賞賛        | 3   | 1.4%   |
| その他               | 0   | 0.0%   |
| 合計                | 210 | 100.0% |

Q23.Q22で「とてもある」、「まあまあある」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じますか。[SA] (N=210)



**(Q20とQ22の比較) 業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありましたか。**  
**(N=324)**

幸福感・達成感・やりがいの増減をコロナ流行前・後で比較すると、「とてもあった」「まあまああった」が、流行後では約1割減少しており、その分、「あまりなかった」の回答が増えた。「ない」の回答は、流行前・後ともに変わらない回答割合であった。

|         | Q20：流行前 |        | Q22：流行後 |        | 増減<br>(流行後－流行前) |
|---------|---------|--------|---------|--------|-----------------|
|         | N       | %      | N       | %      | %               |
| とてもあった  | 40      | 12.3%  | 37      | 11.4%  | -0.9%           |
| まあまああった | 176     | 54.3%  | 173     | 53.4%  | -0.9%           |
| あまりなかった | 82      | 25.3%  | 88      | 27.2%  | 1.9%            |
| ない      | 26      | 8.0%   | 26      | 8.0%   | 0.0%            |
| 計       | 324     | 100.0% | 324     | 100.0% | 0.0%            |

(Q21とQ23の比較) 「とてもあった」「まあまああった」と回答した方に伺います。どんなときに一番その思いを感じましたか。(N=324)

コロナ流行前・後で比較すると、「感謝の言葉(利用者、利用者家族)」が5.2%、「上司・同僚からの評価・賞賛」が0.4%、「家族・友人からの賞賛」が0.5%上昇している。

このことから、コロナ禍における第三者からの評価・賞賛は、介護従事者が日常業務を行う上で、プラスの影響を与えることが推察される。

なお、「利用者の状態が改善したとき」は、流行前の30.1%から流行後の24.8%とその差5.3%あり、流行後での回答割合が低下した要因として、外出自粛やサービスの利用状況の変化などが、利用者自身の状態改善に何かしらの影響を与えたのではないかと考えられる。

|                  | Q21：流行前 |        | Q23：流行後 |        | 増減<br>(流行後－流行前) |
|------------------|---------|--------|---------|--------|-----------------|
|                  | N       | %      | N       | %      | %               |
| 感謝の言葉(利用者、利用者家族) | 103     | 47.7%  | 111     | 52.9%  | 5.2%            |
| 利用者の状態が改善したとき    | 65      | 30.1%  | 52      | 24.8%  | -5.3%           |
| 上司・同僚からの評価・賞賛    | 28      | 13.0%  | 28      | 13.3%  | 0.4%            |
| 給与・待遇が上がったとき     | 18      | 8.3%   | 16      | 7.6%   | -0.7%           |
| 家族・友人からの賞賛       | 2       | 0.9%   | 3       | 1.4%   | 0.5%            |
| その他              | 0       | 0.0%   | 0       | 0.0%   | 0.0%            |
| 計                | 216     | 100.0% | 210     | 100.0% | 0.0%            |

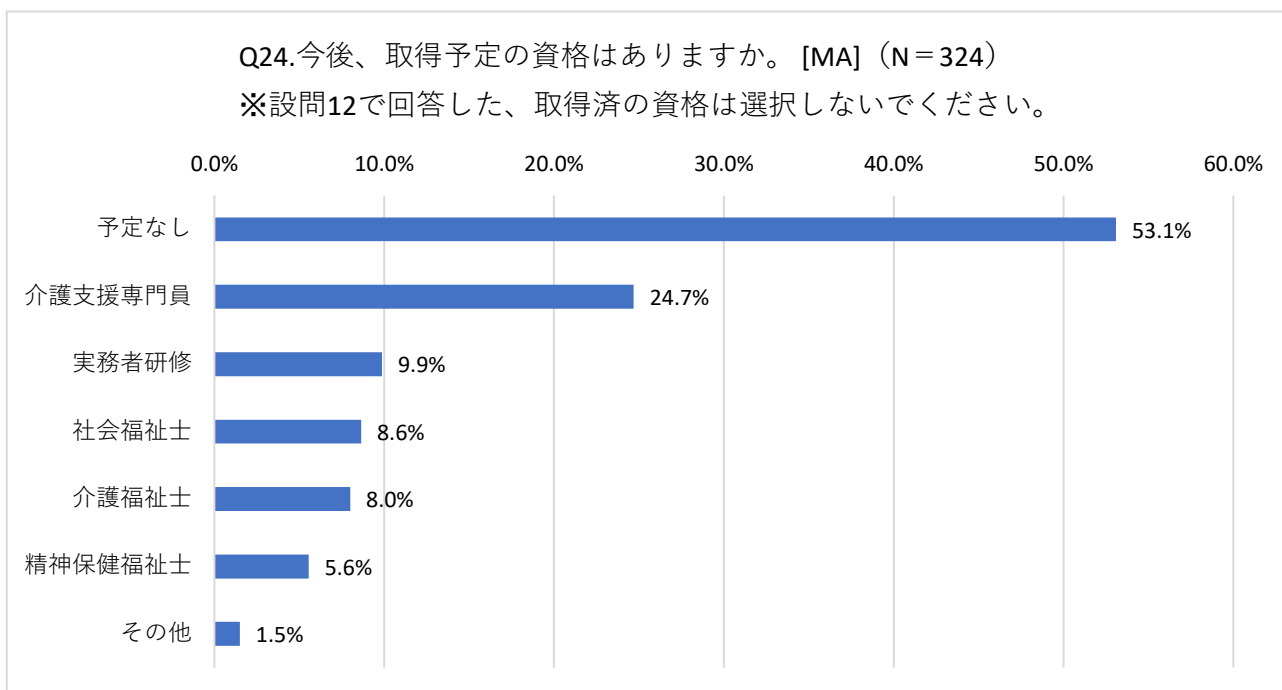


**Q24.今後、取得予定の資格はありますか。[MA] (N=324)**

※設問12で回答した、取得済の資格は選択しないでください。

「予定なし」がもっとも多く、約半数を占めている。「介護支援専門員」の24.7%、「実務者研修」の9.9%とつづく。

|         | N   | %      |
|---------|-----|--------|
| 予定なし    | 172 | 53.1%  |
| 介護支援専門員 | 80  | 24.7%  |
| 実務者研修   | 32  | 9.9%   |
| 社会福祉士   | 28  | 8.6%   |
| 介護福祉士   | 26  | 8.0%   |
| 精神保健福祉士 | 18  | 5.6%   |
| その他     | 5   | 1.5%   |
| 合計      | 324 | 100.0% |



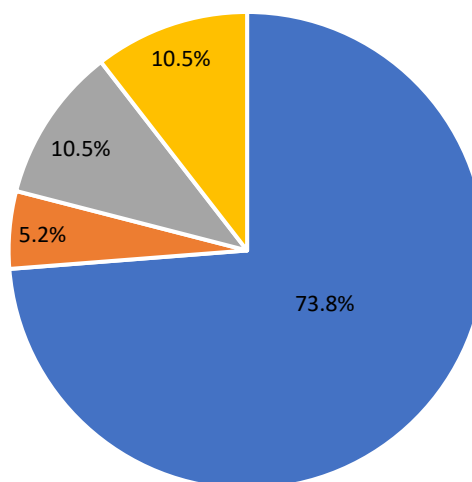
### Q25.今後も訪問介護の仕事をしていきたいですか。[SA] (N=324)

「続けていこうと思う」がもっとも多く73.8%を占めている。「他の医療・福祉職に転職しようと思う」「他の業種に転職しようと思う」がともに10.5%、「施設系、サ高住に転職しようと思う」の5.2%とつづく。

|                   | N   | %      |
|-------------------|-----|--------|
| 続けていこうと思う         | 239 | 73.8%  |
| 施設系、サ高住に転職しようと思う  | 17  | 5.2%   |
| 他の医療・福祉職に転職しようと思う | 34  | 10.5%  |
| 他の業種に転職しようと思う     | 34  | 10.5%  |
| 合計                | 324 | 100.0% |

### Q25.今後も訪問介護の仕事をしていきたいですか。[SA] (N=324)

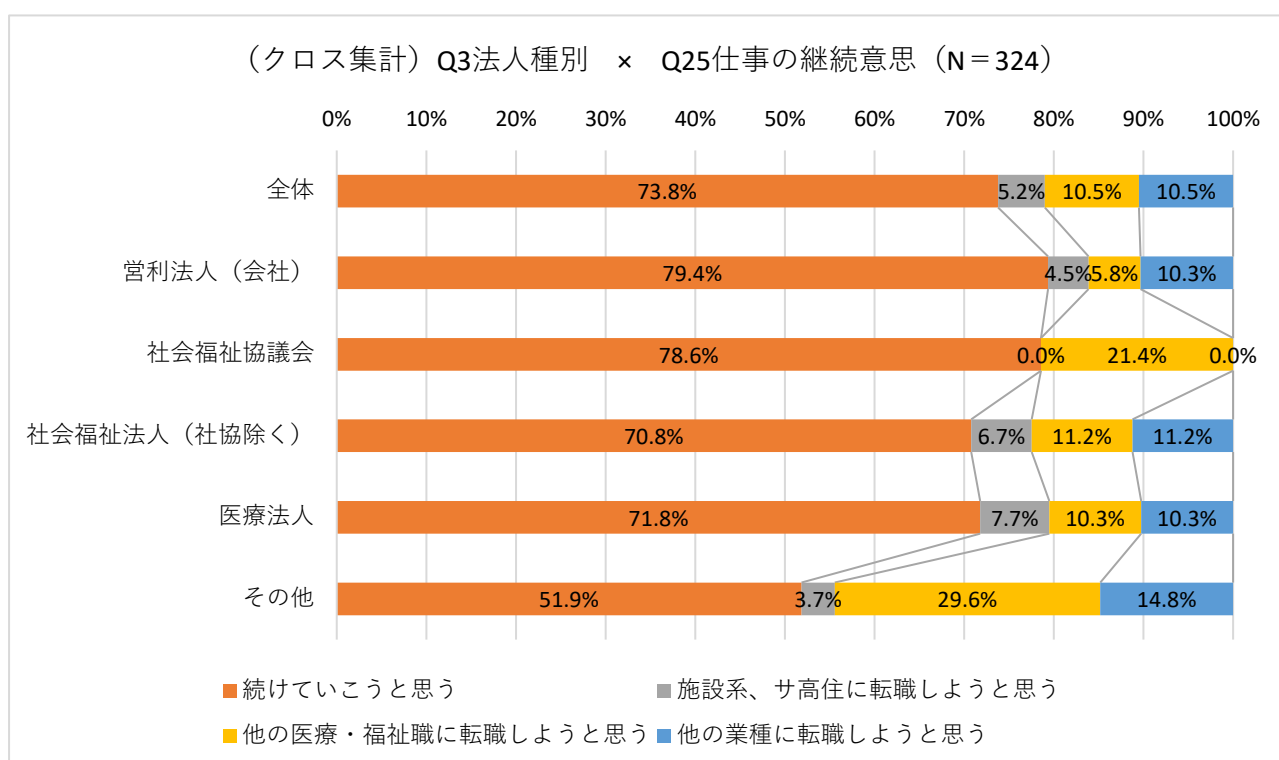
- 続けていこうと思う
- 施設系、サ高住に転職しようと思う
- 他の医療・福祉職に転職しようと思う
- 他の業種に転職しようと思う



(クロス集計) Q3法人種別 × Q25仕事の継続意思 (N=324)

仕事の継続意識を法人種別で見ると、いずれの法人においても「続けていこうと思う」が最も高く5割以上を占めている。なお「他の業種に転職しようと思う」と回答した者は、「社会福祉協議会」を除く法人種別で約1割見られた。

|              | 全体     | 続けていこうと思う | 施設系、サ高住に転職しようと思う | 他の医療・福祉職に転職しようと思う | 他の業種に転職しようと思う |
|--------------|--------|-----------|------------------|-------------------|---------------|
| 全体           | 324    | 239       | 17               | 34                | 34            |
|              | 100.0% | 73.8%     | 5.2%             | 10.5%             | 10.5%         |
| 営利法人(会社)     | 155    | 123       | 7                | 9                 | 16            |
|              | 100.0% | 79.4%     | 4.5%             | 5.8%              | 10.3%         |
| 社会福祉協議会      | 14     | 11        | 0                | 3                 | 0             |
|              | 100.0% | 78.6%     | 0.0%             | 21.4%             | 0.0%          |
| 社会福祉法人(社協除く) | 89     | 63        | 6                | 10                | 10            |
|              | 100.0% | 70.8%     | 6.7%             | 11.2%             | 11.2%         |
| 医療法人         | 39     | 28        | 3                | 4                 | 4             |
|              | 100.0% | 71.8%     | 7.7%             | 10.3%             | 10.3%         |
| その他          | 27     | 14        | 1                | 8                 | 4             |
|              | 100.0% | 51.9%     | 3.7%             | 29.6%             | 14.8%         |

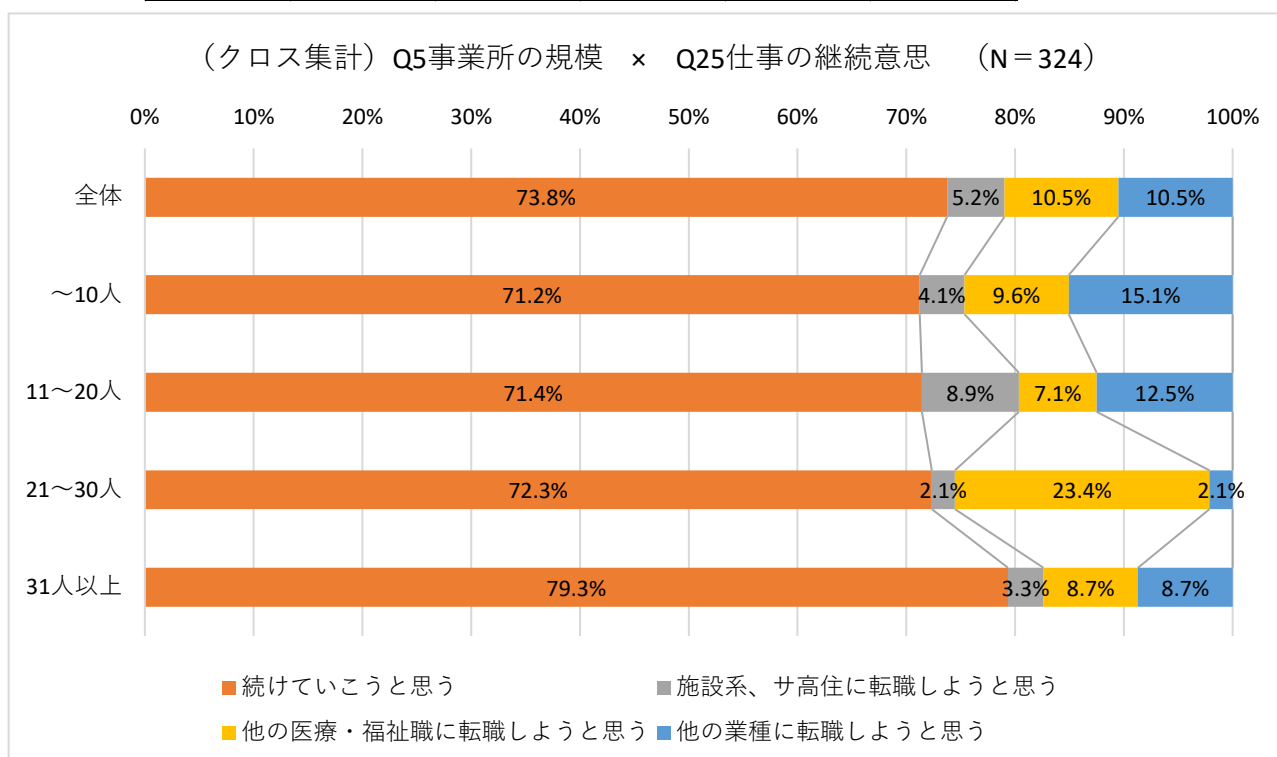


(クロス集計) Q5事業所の規模 × Q25仕事の継続意思 (N=324)

仕事の継続意識を事業所の規模で見ると、いずれの規模においても「続けていこうと思う」が最も高く7割以上を占めている。

なお、事業所の規模が大きくなるほど、「続けていこうと思う」割合が高い傾向が見られた。

|        | 全体     | 続けていこうと思う | 施設系、サ高住に転職しようと思う | 他の医療・福祉職に転職しようと思う | 他の業種に転職しようと思う |
|--------|--------|-----------|------------------|-------------------|---------------|
| 全体     | 324    | 239       | 17               | 34                | 34            |
|        | 100.0% | 73.8%     | 5.2%             | 10.5%             | 10.5%         |
| ～10人   | 73     | 52        | 3                | 7                 | 11            |
|        | 100.0% | 71.2%     | 4.1%             | 9.6%              | 15.1%         |
| 11～20人 | 112    | 80        | 10               | 8                 | 14            |
|        | 100.0% | 71.4%     | 8.9%             | 7.1%              | 12.5%         |
| 21～30人 | 47     | 34        | 1                | 11                | 1             |
|        | 100.0% | 72.3%     | 2.1%             | 23.4%             | 2.1%          |
| 31人以上  | 92     | 73        | 3                | 8                 | 8             |
|        | 100.0% | 79.3%     | 3.3%             | 8.7%              | 8.7%          |

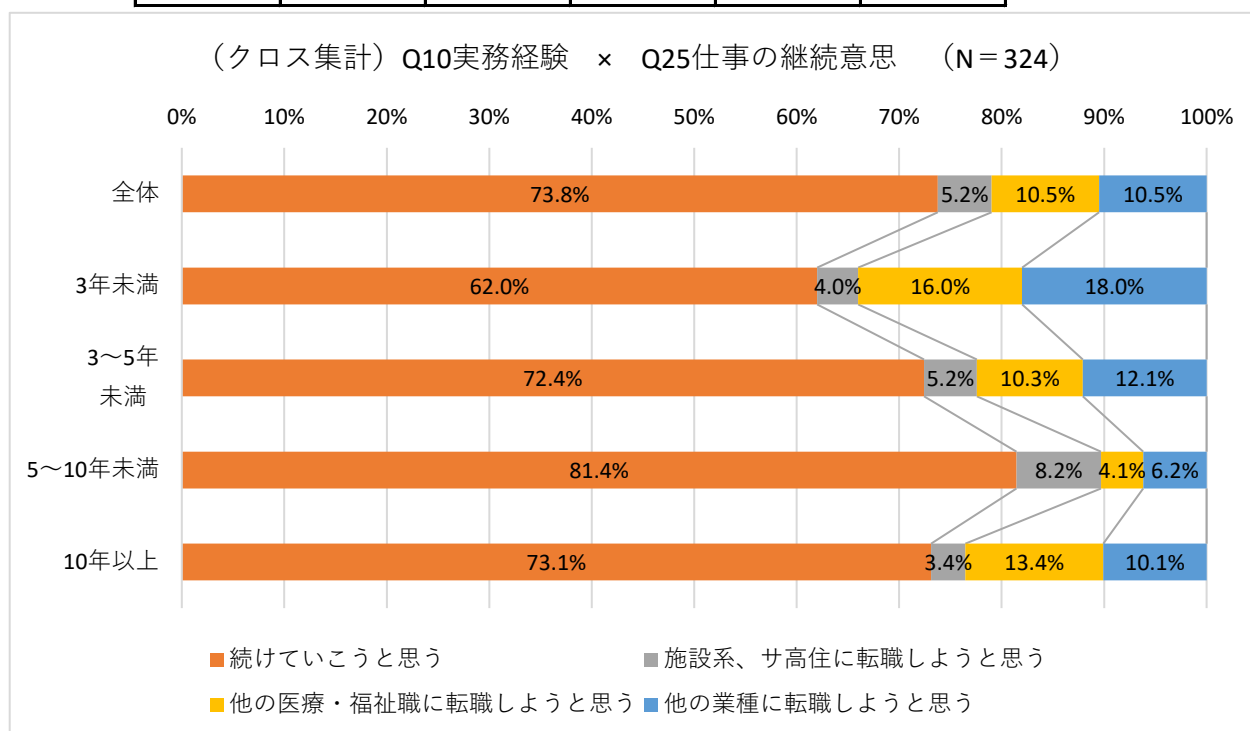


(クロス集計) Q10実務経験 × Q25仕事の継続意思 (N=324)

仕事の継続意思を実務経験で見ると、いずれの年数においても「続けていこうと思う」が最も高く6割以上を占めている。

なお、実務経験が長くなるにつれ、「続けていこうと思う」の割合が上がる傾向が見られ「5～10年未満」が81.4%と最も高い。しかし、「10年以上」で下がる傾向がみられた。

|         | 全体     | 続けていこうと思う | 施設系、サ高住に転職しようと思う | 他の医療・福祉職に転職しようと思う | 他の業種に転職しようと思う |
|---------|--------|-----------|------------------|-------------------|---------------|
| 全体      | 324    | 239       | 17               | 34                | 34            |
|         | 100.0% | 73.8%     | 5.2%             | 10.5%             | 10.5%         |
| 3年未満    | 50     | 31        | 2                | 8                 | 9             |
|         | 100.0% | 62.0%     | 4.0%             | 16.0%             | 18.0%         |
| 3～5年未満  | 58     | 42        | 3                | 6                 | 7             |
|         | 100.0% | 72.4%     | 5.2%             | 10.3%             | 12.1%         |
| 5～10年未満 | 97     | 79        | 8                | 4                 | 6             |
|         | 100.0% | 81.4%     | 8.2%             | 4.1%              | 6.2%          |
| 10年以上   | 119    | 87        | 4                | 16                | 12            |
|         | 100.0% | 73.1%     | 3.4%             | 13.4%             | 10.1%         |



(クロス集計) Q25仕事の継続意思 × Q16自身の業務量・身体的ストレス・精神的ストレス・健康状態 (N=324)

仕事の継続意思別に、自身の業務量・身体的ストレス・精神的ストレス・健康状態をみると、「転職しようと思う」の各項目で回答した者は、業務量・ストレス・健康状態のいずれにおいても、「感染症流行前に比べ、悪化(増加)した」と回答する割合が「続けていこうと思う」と回答した者に比べ高い。

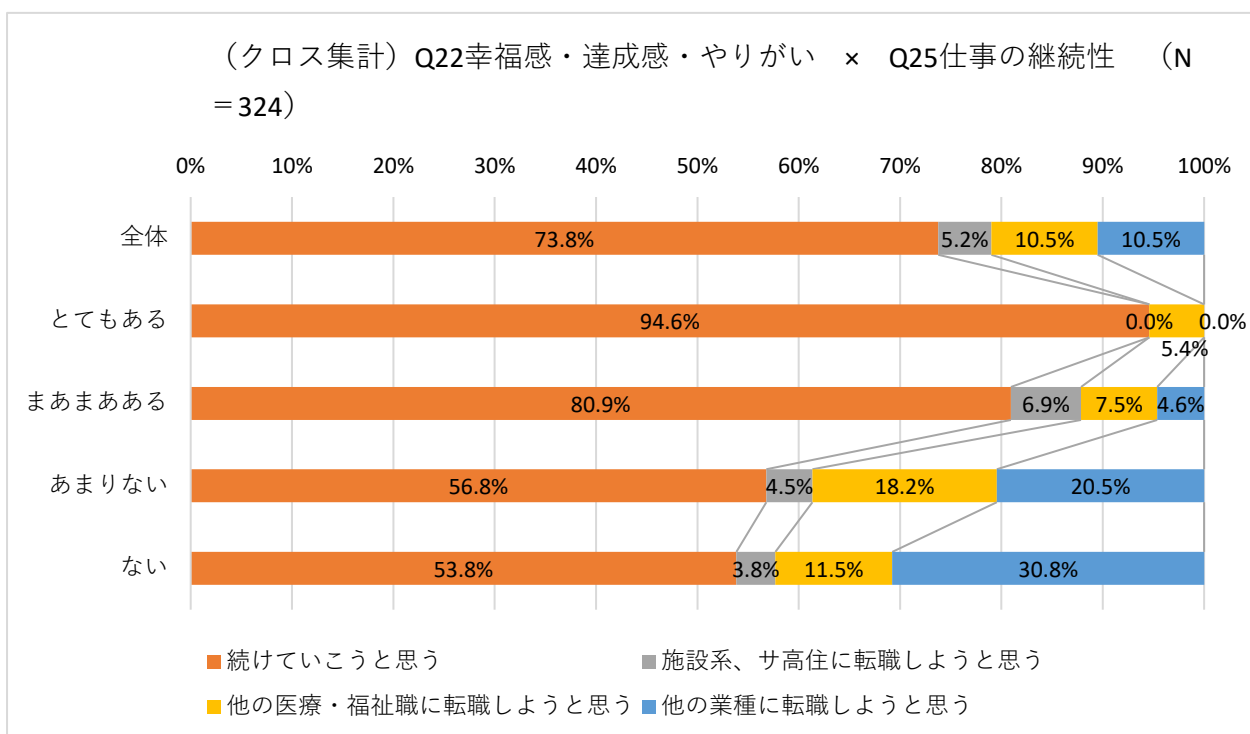
41

|                          | 自身の業務量 |                    |       |                    | 身体的ストレス |                    |       |                    | 精神的ストレス |                    |       |                    | 健康状態   |                    |       |                    |
|--------------------------|--------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|---------|--------------------|-------|--------------------|--------|--------------------|-------|--------------------|
|                          | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体      | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した | 全体     | 感染症流行前に比べ、悪化(増加)した | 差異はない | 感染症流行前に比べ、好転(減少)した |
| 全体 (N=324)               | 324    | 148                | 150   | 26                 | 324     | 168                | 137   | 19                 | 324     | 185                | 121   | 18                 | 324    | 121                | 184   | 19                 |
|                          | 100.0% | 45.7%              | 46.3% | 8.0%               | 100.0%  | 51.9%              | 42.3% | 5.9%               | 100.0%  | 57.1%              | 37.3% | 5.6%               | 100.0% | 37.3%              | 56.8% | 5.9%               |
| 続けていこうと思う (N=239)        | 239    | 105                | 118   | 16                 | 239     | 111                | 115   | 13                 | 239     | 127                | 99    | 13                 | 239    | 77                 | 147   | 15                 |
|                          | 100.0% | 43.9%              | 49.4% | 6.7%               | 100.0%  | 46.4%              | 48.1% | 5.4%               | 100.0%  | 53.1%              | 41.4% | 5.4%               | 100.0% | 32.2%              | 61.5% | 6.3%               |
| 施設系、サ高住に転職しようと思う (N=17)  | 17     | 10                 | 6     | 1                  | 17      | 13                 | 3     | 1                  | 17      | 11                 | 4     | 2                  | 17     | 6                  | 10    | 1                  |
|                          | 100.0% | 58.8%              | 35.3% | 5.9%               | 100.0%  | 76.5%              | 17.6% | 5.9%               | 100.0%  | 64.7%              | 23.5% | 11.8%              | 100.0% | 35.3%              | 58.8% | 5.9%               |
| 他の医療・福祉職に転職しようと思う (N=34) | 34     | 15                 | 13    | 6                  | 34      | 21                 | 10    | 3                  | 34      | 25                 | 8     | 1                  | 34     | 21                 | 12    | 1                  |
|                          | 100.0% | 44.1%              | 38.2% | 17.6%              | 100.0%  | 61.8%              | 29.4% | 8.8%               | 100.0%  | 73.5%              | 23.5% | 2.9%               | 100.0% | 61.8%              | 35.3% | 2.9%               |
| 他の業種に転職しようと思う (N=34)     | 34     | 18                 | 13    | 3                  | 34      | 23                 | 9     | 2                  | 34      | 22                 | 10    | 2                  | 34     | 17                 | 15    | 2                  |
|                          | 100.0% | 52.9%              | 38.2% | 8.8%               | 100.0%  | 67.6%              | 26.5% | 5.9%               | 100.0%  | 64.7%              | 29.4% | 5.9%               | 100.0% | 50.0%              | 44.1% | 5.9%               |

(クロス集計) Q22幸福感・達成感・やりがい × Q25仕事の継続意思 (N=324)

仕事の継続意思別に、自身の業務量・身体的ストレス・精神的ストレス・健康状態をみると、「転職しようと思う」の各項目で回答した者は、業務量・ストレス・健康状態のいずれにおいても、「感染症流行前に比べ、悪化(増加)した」と回答する割合が「続けていこうと思う」と回答した者に比べ高い。

|        | 全体     | 続けていこうと思う | 施設系、サ高住に転職しようと思う | 他の医療・福祉職に転職しようと思う | 他の業種に転職しようと思う |
|--------|--------|-----------|------------------|-------------------|---------------|
| 全体     | 324    | 239       | 17               | 34                | 34            |
|        | 100.0% | 73.8%     | 5.2%             | 10.5%             | 10.5%         |
| とてもある  | 37     | 35        | 0                | 2                 | 0             |
|        | 100.0% | 94.6%     | 0.0%             | 5.4%              | 0.0%          |
| まあまあある | 173    | 140       | 12               | 13                | 8             |
|        | 100.0% | 80.9%     | 6.9%             | 7.5%              | 4.6%          |
| あまりない  | 88     | 50        | 4                | 16                | 18            |
|        | 100.0% | 56.8%     | 4.5%             | 18.2%             | 20.5%         |
| ない     | 26     | 14        | 1                | 3                 | 8             |
|        | 100.0% | 53.8%     | 3.8%             | 11.5%             | 30.8%         |



## Q26.設問25で回答した理由はなんですか。[FA] (N=324)

「続けていこうと思う理由」(N=239)としては、「特に無し、その他」を除くと、やりがいや生きがい、使命感を感じているといった回答が最も多く、次いで、今の仕事や職場に満足している(利用者やスタッフとの人間関係や職場環境が良い、今の仕事や職場になれているなど)といった回答が多くみられた。

「施設系、サ高住に転職しようと思う理由」(N=17)としては、キャリアアップや給与面への期待と、人員不足や移動が辛いといった現状に関する回答がみられた。

「他の医療・福祉職に転職しようと思う理由」(N=34)としては、身体的・精神的負担が大きいといった回答が最も多く、次いで、人間関係に疲れたといった現状に関する回答が多く見られた。

「他の業種に転職しようと思う理由」(N=34)としては、身体的・精神的負担が大きいといった回答が最も多く、次いで、給与が低いといった待遇への不満の回答が多く見られた。

### 「続けていこうと思う理由」(N=239)

|   | N   | %      |
|---|-----|--------|
| ・やりがいや生きがい、使命感など  | 87  | 36.4%  |
| ・今の職場や仕事に満足している(利用者やスタッフとの人間関係や職場環境が良い、今の仕事や職場になれているなど) | 60  | 25.1%  |
| ・年齢的に転職を考えていない。介護の仕事しかできない、他に仕事がないなど                    | 19  | 7.9%   |
| ・給与が良い、安定した仕事だから  | 9   | 3.8%   |
| ・特に無し、その他   | 64  | 26.8%  |
| 合計  | 239 | 100.0% |

### 「他の業種に転職しようと思う理由」(N=34)

|                 | N  | %      |
|-----------------|----|--------|
| ・身体的・精神的負担が大きい等 | 13 | 38.2%  |
| ・給与が低い          | 11 | 32.4%  |
| ・他にやりたいことがある    | 2  | 5.9%   |
| ・職場環境が悪い        | 2  | 5.9%   |
| ・人間関係に疲れたなど     | 1  | 2.9%   |
| ・その他            | 5  | 14.7%  |
| 合計              | 34 | 100.0% |



### (3) 調査票

| 設問<br>番号  | 設問内容                           | 回答<br>形式 | 選択肢等   |
|---|--------------------------------|----------|--|
| 1   | この調査の説明を読んだ上で、調査に協力しますか。       | S A      | はい<br>いいえ  |
| <p>※1 令和4年10月1日にあなたが所属していた訪問介護事業所に関する情報をご回答ください。</p> <p>※2 複数の訪問介護事業所に勤務（所属・登録）している場合は、2020（令和2）年1月以前から令和4年10月1日の間、継続して勤務（所属・登録）している訪問介護事業所であり、且つ1週間の延べ労働時間がもっとも長い訪問介護事業所について、各問にお答えください。</p> |                                |          |  |
| 2   | 貴訪問介護事業所がある都道府県をお答えください。       | S A      |  |
| 3   | 事業所を運営する法人種別についてお答えください。       | S A      | 営利法人（会社）<br>社会福祉協議会<br>社会福祉法人（社協除く）<br>医療法人<br>特定非営利活動法人（NPO）<br>協同組合<br>社団法人・財団法人<br>自治体・広域連合・一部事務組合<br>その他（ ）  |
| 4   | 事業所に併設する介護保険サービス種別についてお答えください。 | M A      | 訪問看護<br>通所介護（地域密着型・療養含む）<br>通所リハビリテーション<br>特定施設入居者生活介護<br>介護老人福祉施設（地域密着型含む）<br>介護老人保健施設<br>介護医療院・介護療養型医療施設<br>居宅介護支援<br>サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）<br>有料老人ホーム（特定施設除く）<br>総合事業<br>併設なし<br>その他（ ） |

|   |  |                                    |
|---|--|------------------------------------|
| 5   | 貴訪問介護事業所で働く職員数をお答えください（管理者、サービス提供責任者、訪問介護員の合算数〈常勤専従・常勤兼務・非常勤の別は問わない〉）。   | F A                                |
| 6   | 貴訪問介護事業所における「特定事業所加算」の算定状況についてお答えください。   | S A I                              |
|   |  | II                                 |
|   |  | III                                |
|   |  | IV                                 |
|   |  | V                                  |
|   |  | 算定していない                            |
|   |  | 分からない                              |
| ※1 令和4年10月1日時点のあなた自身に関する情報をご回答ください。   |  |                                    |
| ※2 複数の訪問介護事業所に勤務（所属・登録）している場合は、2020（令和2）年1月以前から令和4年10月1日の間、継続して勤務（所属・登録）している訪問介護事業所であり、且つ1週間の延べ労働時間がもっとも長い訪問介護事業所について、各間にお答えください。 |  |                                    |
| 7   | 現在の訪問介護事業所における、あなたの雇用形態をお答えください。<br>※「常勤」とは事業所が定めた勤務時間のすべてを勤務している者をいい、「非常勤」とは常勤者以外の従事者（他の施設、事業所にも勤務するなど収入及び時間的拘束の伴う仕事を持っている者、短時間のパートタイマー等）をいう。 | S A 常勤                             |
|   |  | 非常勤（週20時間未満）                       |
|   |  | 非常勤（週20時間以上）                       |
| 8   | 設問7で「非常勤（週20時間未満）」、「非常勤（週20時間以上）」と回答した方に伺います。複数の事業所に所属（登録）していますか。  | M A                                |
|   |  | 他の訪問介護事業所にも所属（登録）している              |
|   |  | 他の事業所（訪問介護事業所を除く介護施設等）にも所属（登録）している |
|   |  | 他の事業所（施設・訪問介護事業所）には所属（登録）していない     |

|   |     |   |
|---|-----|---|
| <p>9 現在の訪問介護事業所における、あなたの職種をお答えください。<br/>※兼務している場合は、主として従事しているものをお答えください。</p>  | S A | <p>管理者</p> <hr/> <p>サービス提供責任者</p> <hr/> <p>訪問介護員</p>  |
| <p>10 訪問介護員としての実務経験年数をお答えください。</p>  | S A | <p>3年未満</p> <hr/> <p>3～5年未満</p> <hr/> <p>5～10年未満</p> <hr/> <p>10～15年未満</p> <hr/> <p>15～20年未満</p> <hr/> <p>20年以上</p>   |
| <p>11 現在の事業所における訪問介護員としての実務経験年数をお答えください。<br/>※回答の際は、設問10の実務経験を上回ることがないようにご注意ください。</p>   | S A | <p>3年未満</p> <hr/> <p>3～5年未満</p> <hr/> <p>5～10年未満</p> <hr/> <p>10～15年未満</p> <hr/> <p>15～20年未満</p> <hr/> <p>20年以上</p>   |
| <p>12 現在保有している保健・医療・福祉の資格をすべてお答えください。<br/>※1ここでいうホームヘルパーとは「介護福祉士養成のための実務者研修（旧ホームヘルパー1級）」「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」「旧ホームヘルパー3級」のことです。</p> | M A | <p>介護支援専門員</p> <hr/> <p>介護福祉士</p> <hr/> <p>社会福祉士</p> <hr/> <p>精神保健福祉士</p> <hr/> <p>看護師・保健師</p> <hr/> <p>准看護師</p> <hr/> <p>ホームヘルパー※1</p> <hr/> <p>PT/OT/ST</p> <hr/> <p>福祉用具専門相談員</p> <hr/> <p>福祉住環境コーディネーター</p> <hr/> <p>その他（ ）</p> |
| <p>13 年齢についてお答えください。</p>  | S A | <p>10代</p> <hr/> <p>20代</p> <hr/> <p>30代</p> <hr/> <p>40代</p> <hr/> <p>50代</p> <hr/> <p>60代</p> <hr/> <p>70歳以上</p>  |

|    |   |     |  |
|----|---|-----|--|
| 14 | 現在の訪問介護事業所で訪問介護の仕事に就く前の就労状況についてお答えください。 | S A | 他の訪問介護事業所で働いていた<br>訪問介護以外の介護の仕事に就いていた<br>介護とは関係のない業界で働いていた<br>就労していなかった（学生等）   |
| 15 | あなたが訪問介護の仕事を選んだ理由はなんですか。                | S A | <p>ライフスタイルにあわせた勤務が可能だから（勤務時間帯が柔軟）</p> <hr/> <p>利用者個々人の生活を支えたいから</p> <hr/> <p>給与面、収入が得やすいから</p> <hr/> <p>自分の家族が訪問介護を受けているのを見て、介護の仕事に興味をもったから</p> <hr/> <p>その他（        ）</p> |

※ 複数の訪問介護事業所に勤務（所属・登録）している場合は、2020（令和2）年1月以前から令和4年10月1日の間、継続して勤務（所属・登録）している訪問介護事業所であり、且つ1週間の延べ労働時間がもっとも長い訪問介護事業所について、各間にお答えください。

- 16 現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、「自身の業務量」、「身体的ストレス」、「精神的ストレス」、「健康状態」にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を（3）として、その程度をお考えください。なお、「ストレス」や「健康状態」について、流行前も現在もストレスを感じていない、疾患がない場合には「差異はない」（3）を選択してください。

【必須/該当するものをひとつ選択】

※1ここでいう「身体的ストレス」とは、疲労感、身体愁訴（頭痛や首・肩こり、腰痛など含む）のことです。

※2ここでいう「精神的ストレス」とは、活気、イライラ感（怒り含む）、不安感、抑うつ感、食欲不振のことです。

※3ここでいう「健康状態」とは、新たに生じた疾患や既往歴の病状変化のことです。

|                |    |  |
|----------------|----|--|
| 16S1 自身の業務量    | SA | <p>感染症流行前に比べ、悪化（激増）した<br/>(1)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した (2)</p> <hr/> <p>差異はない (3)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した (4)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、好転（激減）した<br/>(5)</p> |
| 16S2 身体的ストレス※1 | SA | <p>感染症流行前に比べ、悪化（激増）した<br/>(1)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した (2)</p> <hr/> <p>差異はない (3)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した (4)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、好転（激減）した<br/>(5)</p> |
| 16S3 精神的ストレス※2 | SA | <p>感染症流行前に比べ、悪化（激増）した<br/>(1)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した (2)</p> <hr/> <p>差異はない (3)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した (4)</p> <hr/> <p>感染症流行前に比べ、好転（激減）した<br/>(5)</p> |

|  |    |  |
|--|----|--|
| 16S4 健康状態※3  | SA | 感染症流行前に比べ、悪化（激増）した<br>(1)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、わずかに悪化（増加）した (2)<br><hr/> 差異はない (3)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、わずかに好転（減少）した (4)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、好転（激減）した<br>(5)                |
| 17 現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、給与面にどのような変化がみられましたか。「差異はない」を (3) として、その程度をお考えください。【必須/該当するものをひとつ選択】 | SA | 感染症流行前に比べ、増額した (1)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、わずかに増額した<br>(2)<br><hr/> 差異はない (3)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、わずかに減額した<br>(4)<br><hr/> 感染症流行前に比べ、減額した (5)                                |
| 18 現在（2022（令和4）年7～8月時点）と新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）とを比較して、もっともストレスを感じることはなんですか。【必須/該当するものをひとつ選択】                              | SA | 利用者との関係<br><hr/> 利用者家族との関係<br><hr/> 職場内の人間関係<br><hr/> 利用者に起こる事故（転倒、誤嚥等）、状態の変化<br><hr/> 自身の疾病・感染のリスク<br><hr/> 感染予防対策（頻回な消毒・除菌、感染防護具の使用等）<br><hr/> ストレスを感じていない<br>その他（ ） |

|    |   |    |  |
|----|---|----|--|
| 19 | <p>新型コロナウイルス感染症禍で働くうえで生じる不安はなんですか。【必須/該当するものをすべて選択】</p>                                     | MA | <p>自分が感染すること</p> <hr/> <p>自分の同居家族が感染すること</p> <hr/> <p>自分を介して事業所内に感染をひろめてしまうこと</p> <hr/> <p>利用者や利用者家族が感染すること</p> <hr/> <p>その他（ ）</p> <hr/> <p>特に不安はない</p> |
| 20 | <p>新型コロナウイルス感染症の流行前（2020（令和2）年1月以前）に、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありましたか。【必須/該当するものをひとつ選択】</p> | SA | <p>とてもあった</p> <hr/> <p>まあまああった</p> <hr/> <p>あまりなかった</p> <hr/> <p>ない</p>  |
| 21 | <p>設問20で「とてもあった」、「まあまああった」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じましたか。【選択するものをひとつ選択】</p>                 | SA | <p>感謝の言葉（利用者、利用者家族）</p> <hr/> <p>利用者の状態が改善したとき</p> <hr/> <p>上司・同僚からの評価・賞賛</p> <hr/> <p>給与・待遇が上がったとき</p> <hr/> <p>家族・友人からの賞賛</p> <hr/> <p>その他</p>         |
| 22 | <p>現在（2022（令和4）年7～8月時点）、業務を通じて、幸福感・達成感・やりがいを感じることはありますか。【必須/該当するものをひとつ選択】</p>               | SA | <p>とてもある</p> <hr/> <p>まあまあある</p> <hr/> <p>あまりない</p> <hr/> <p>ない</p>  |

|    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 23 | 設問22で「とてもある」、「まあまあある」と回答した方に伺います。どんな時に一番その思いを感じますか。【必須/該当するものをひとつ選択】    | SA | 感謝の言葉（利用者、利用者家族）<br>利用者の状態が改善したとき<br>上司・同僚からの評価・賞賛<br>給与・待遇が上がったとき<br>家族・友人からの賞賛<br>その他 |
| 24 | 今後、取得予定の資格はありますか。<br>【必須/該当するものをすべて選択】<br>※設問12で回答した、取得済の資格は選択しないでください。 | MA | 介護福祉士<br>社会福祉士<br>介護支援専門員<br>精神保健福祉士<br>実務者研修<br>その他（ ）<br>予定なし                         |
| 25 | 今後も訪問介護の仕事を続けていきたいですか。【必須/該当するものをひとつ選択】                                 | SA | 続けていこうと思う<br>施設系、サ高住に転職しようと思う<br>他の医療・福祉職に転職しようと思う<br>他の業種に転職しようと思う                     |
| 26 | 設問25で回答した理由はなんですか。  | FA |   |



コロナ禍における訪問介護従事者の業務負担・ストレスや就労意識に関する調査  
とりまとめ報告書

---

令和5（2023）年3月発行

発行 一般財団法人 長寿社会開発センター

〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6階

TEL : 03-5470-6751

FAX : 03-5470-6762

---

不許複製